

平成28年度熊本市生物多様性関連事業実施状況(詳細)

基本戦略1 知る 基盤となる情報の継続的な収集・整備

資料 1-2

I 個別の事業ごとの実施状況

1. 生物多様性に関する情報の収集・発信の体制構築

1) 情報の収集・発信の核となる体制の構築

事業・取組	細事業	事業・取組の内容(概要)	実施エリア	H28年度の実施状況	H28事業費 (千円)	課題・今後の見通し	今後のスケジュール(予定)					数値目標 (別途あれば)	局	課	備考
							H28	H29	H30	H31	H32				
自然環境 保全事業	生物多様性 保全推進 経費	環境共生課が窓口となり(庁内への定期的な関連調査の照会とデータ提供依頼、データベースの整理)、博物館:生物等に関わる専門的調査や助言及び関連論文等の収集、環境総合センター:データ収集及び分析・研究、動植物園:情報の発信等。	熊本市全域	H29年1月から2月、庁内推進会議の立ち上げとともに、庁内の関係各課に対して、関連事業の進捗状況調査を実施。 また、H28年11月から毎月1回、熊本博物館、環境総合センター、動植物園の4課で集まり、生物多様性の推進に向けた協議の場を設けた(4課連携プロジェクト)。	0	今後も情報提供、把握に努めるとともに、庁内向けには改めて研修等も計画中。また、生物多様性の推進に向けては横の連携も必要なことから、4課合同会議は継続して実施し、その第一弾として、H29年5月の生物多様性の日に合わせた啓発イベントを計画中。	継続	→				無	環境局 経済観光局 教育委員会	環境共生課 環境総合センター 動植物園 熊本博物館	「学び、つながる」再掲
			江津湖一帯 金峰山系	不定期ではあるが、江津湖周辺で見られる魚類を中心とした生物についてモニタリングを実施した。 4月から11月の間、金峰山系某所に自動撮影装置を設置し、主に哺乳類のモニタリングを実施した。	0	博物館がリニューアル工事中であるため、しばらくは調査に当てる時間の確保が難しい。	継続	→				無	教育委員会	熊本博物館	

2) 市民が活用できる情報の収集・共有方法(いきものマップなどの地図化、ウェブサイトでの発信等)の検討

事業・取組	細事業	事業・取組の内容(概要)	実施エリア	H28年度の実施状況	H28事業費 (千円)	課題・今後の見通し	今後のスケジュール(予定)					数値目標 (別途あれば)	局	課	備考	
							H28	H29	H30	H31	H32					
※検討中		独自の環境ポータルサイトを立ち上げ、市民への情報提供のほか、情報把握等ができる環境整備を行う。	熊本市全域	H27年度末から、H29年度の環境ポータルサイトの立ち上げを目指し局内で幾度も協議を重ねてきたが、地震の影響により導入は未定。	0	復興期間中の導入は未定。当面は、市ホームページを活用した情報提供等に努める。 H32年度に改めて協議再開の見込み。	休止	→				検討	無	環境局	環境共生課	

2. 生物多様性に関する情報の整理・分析

1) 「みんなで未来に残したい熊本市の自然環境」に関する既存情報の整理・分析

事業・取組	細事業	事業・取組の内容(概要)	実施エリア	H28年度の実施状況	H28事業費 (千円)	課題・今後の見通し	今後のスケジュール(予定)					数値目標 (別途あれば)	局	課	備考
							H28	H29	H30	H31	H32				
※検討中		既存文献の収集・データの把握(H26年度に実施した基礎調査をベースに新規情報については、専門家の活用、進捗管理における庁内への照会等の中で収集を行うなど)	熊本市全域	未だ検討中。地震の影響により進捗が遅れている。	0	今後も情報収集は必要だが、優先順位を付け、取組を進めていく。	-	検討	→			無	環境局	環境共生課	

2) 絶滅危惧種(熊本県のレッドリスト掲載種)の生息・生育情報の整理

事業・取組	細事業	事業・取組の内容(概要)	実施エリア	H28年度の実施状況	H28事業費 (千円)	課題・今後の見通し	今後のスケジュール(予定)					数値目標 (別途あれば)	局	課	備考
							H28	H29	H30	H31	H32				
※検討中		県との連携、専門家会合(ネットワーク)の活用、市民情報との連動。	熊本市全域	未だ検討中。地震の影響により進捗が遅れている。	0	情報の整理は必要だが、優先順位を付け、取組を進めていく。	-	検討	→			無	環境局	環境共生課	

3) 特に対策が必要な侵略的外来種についての市内における分布、新たな侵入情報の収集

事業・取組	細事業	事業・取組の内容(概要)	実施エリア	H28年度の実施状況	H28事業費 (千円)	課題・今後の見通し	今後のスケジュール(予定)					数値目標 (別途あれば)	局	課	備考
							H28	H29	H30	H31	H32				
自然環境 保全事業	自然環境 保全経費	まず、アライグマ・スパルテナ・クリハラリス等の侵入初期の外来種についての農業者/漁業者/地域住民(区役所)と連携した周知と監視体制の構築(市民モニタリングとの連動も検討)。	熊本市全域	H28年度は、今後のアライグマ対策として、その周知方法や監視体制について検討したほか、植木、金峰山、城南、池田地区において、自動撮影カメラの設置やフィールドサイン調査を行うなどした。	0	H29年度、アライグマ対策として、植木、城南などリスクの高い地域での生息状況調査のほか、地域住民や団体等を対象とした防除講習会(農業支援課と適宜連携)を実施予定で、生息状況を踏まえた監視体制の構築を目指す。	検討	講習会実施・監視体制構築	実施		→	無	環境局	環境共生課	
安定した 農業生産・集出荷の推進	農作物鳥獣被害対策事業	イノシシ等農作物に害を及ぼす鳥獣類の駆除のほか、県と連携しクリハラリスなど外来生物の監視	熊本市全域	有害鳥獣駆除隊によるイノシシ等の駆除を行うとともに、関係部局とアライグマに関する情報共有を図った。	6,000	今後は、農業者を対象とした勉強会を開催するなどしてアライグマの目撃情報や生息痕跡等の収集に努め、関係部局との情報共有を図り、被害防止対策を進めていく。	継続	→				無	農水局	農業支援課 各農業振興課	「学び、つながる」「守る」再掲

3. 生物多様性に関するモニタリング・調査の実施

1) 既存のモニタリング等の継続的な実施(水質・水量モニタリング調査等)

事業・取組	細事業	事業・取組の内容(概要)	実施エリア	H28年度の実施状況	H28事業費 (千円)	課題・今後の見通し	今後のスケジュール(予定)					数値目標 (別途あれば)	局	課	備考
							H28	H29	H30	H31	H32				
広域交通 拠点整備 促進事業	熊本港関係 経費	熊本港単渠港湾調査(干潟生物調査)委託 熊本港建設に伴い、周辺海域の漁場環境や水産生物の生息分布の変化を把握するため調査を実施している。	熊本港周辺 海域	既往調査地点の水質調査、底質調査、プランクトン調査、データ解析等。	2,419	周辺海域の漁業環境や水産生物の分布の変化を把握することにより、工事及び自然的要因とのかかわりを明らかにし、今後の熊本港整備事業に役立てるため、継続的に調査を行う。	継続	→				無	都市建設局	交通政策総室	
公共工事等 整備にあたっての 環境調査	広域河川 改修経費	公共工事等整備にあたっての事前環境調査の実施	熊本市全域	-	0	新規事業の計画段階では河川環境調査を行い、河川特性・環境に配慮した整備計画を立案する。	随時	→				無	都市建設局ほか		



平成28年度熊本市生物多様性関連事業実施状況(詳細)

事業・取組	細事業	事業・取組の内容(概要)	実施エリア	H28年度の実施状況	H28事業費 (千円)	課題・今後の見通し	今後のスケジュール(予定)					数値目標 (別途あれば)	局	課	備考	
							H28	H29	H30	H31	H32					
下水道施設の維持管理	下水道事業会計	・河川環境調査 下水終末処理場からの処理水が、放流先河川の自然環境へ与える影響を把握するため、環境調査(魚類調査)を実施。	木山川 (江津湖地域の一部)	地震の影響により事業休止	0	浄化センター放流口においては、H22年度からH27年度にかけて調査を行い一定の知見が得られた。今後は環境局が実施する江津湖地域全体の調査と一元化し全体的な評価を行うとともに事業の効率化を図る。	一元化し継続	→					無	上下水道局	水再生課	
水質保全対策事業	公共用水域水質監視経費	水質汚濁防止法に基づき、公共用水域(河川・海域)の水質及び底質の調査を実施し、市域の公共用水域の環境基準適合状況を把握する。	熊本市全域	環境基準点(8地点)は毎月、補助点(19地点)は2ヶ月に1回、水質の調査を実施。熊本地震によって河川に濁りがあるものの、それ以外は例年と同様である。	3,304	継続して調査を実施し、公共用水域の水質の状況を把握していく。	継続	→					無	環境局	水保全課	「守る」再掲
水質保全対策事業	地下水水質監視経費	水質汚濁防止法に基づき、地下水の水質調査を実施し、市域の地下水の水質の状況を把握するとともに、地下水汚染地域の継続的な監視を行う。	熊本市全域	延べ519本の井戸の調査計画を立て、調査を実施した。熊本地震の影響等により、一部調査が出来ない井戸もあったが、水質は概ね例年通りであった。	2,762	継続して調査を実施し、地下水の水質の状況を把握していく。	継続	→					硝酸性窒素濃度 10mg/Lを 超過した 井戸の割合 5%以下 (H30)	環境局	水保全課	「守る」再掲
水質保全対策事業	化学物質汚染調査経費	ダイオキシン類対策特別措置法に基づき、公共用水域、地下水及び土壌中のダイオキシン類の調査を実施する。また、環境ホルモン調査を実施する。	熊本市全域	ダイオキシン類は、河川5地点、海域2地点、地下水3地点、土壌5地点において調査を実施。環境ホルモンは、2月に実施予定。	2,500	河川、海域、地下水、土壌いずれも、これまでの調査で環境基準点を超過したことはなく、H29年度は地点数を減らし、河川2地点、海域1地点、地下水2地点、土壌2地点において調査を実施する予定である。	継続	→					無	環境局	水保全課	「守る」再掲
地下水量保全対策経費	地下水位観測経費	地下水保全のため地下水位の状況を常に監視するとともに、収集されたデータは将来の地下水利用に関する予測調査を行ううえで解析等に積極的に利用できるものである。現在、市内20地区に観測井戸を設置し、電話回線を利用したオンラインによる監視を行っており、これらの業務を円滑に行うための観測機器の運転及び点検・補修に関わるもの。	熊本市全域	観測業務及び保守点検業務を委託し、年間を通し、維持管理を行い、地下水位の観測を行った。ただし、熊本地震により、20箇所中10箇所の観測井戸が破損等により、一時観測が出来ない状況であったが、修理を行い、4ヶ月後には全面復旧した。	5,040	今回の熊本地震により、地下水位に顕著な変動がみられたことにより、学識者や研究者の方がそのデータを利用し、調査等に役立ててもらっている。ただし、地震変動で地盤高が変わっており、早急に水準測量を行う必要がある。また、S61年からH5年にかけて設置した機器が老朽化に伴い、不具合や故障を起こしやすくなっており、早期の機器更新が必要である。	継続	→					無	環境局	水保全課	「守る」再掲
地下水量保全対策経費	地下水採取量調査経費	熊本県及び熊本市地下水保全条例に基づく井戸の届け出が約2,670本存在し、郵送による調査を行っている。地下水採取量報告書が提出されていない井戸について報告書の回収と内容に不備がある報告書の確認約630本を委託により実施する。市内の地下水採取に関する用途とその採取量を全て把握することで地下水量の監視を行うもの。	熊本市全域	年度当初に報告書を発送し、督促および電話にて再依頼をしたところ、9割以上の報告書の提出があり、地下水採取量の把握に努めた。なお、H28年度より業務委託費が削減されたため、職員による電話及び訪問にて報告書の提出を促した。	913	熊本地震の影響により、予算人員の見直しを図られ、今後は、業務委託だけではなく、業務補助の臨時職員も削減されたことから、事務作業を直接職員で行わなければならない、報告書の回収率を下げることなく業務を遂行する必要がある。	継続	→					無	環境局	水保全課	「守る」再掲

2) 効果的なモニタリング手法の検討と継続的な実施による情報の蓄積(指標となる生物種の設定など)

事業・取組	細事業	事業・取組の内容(概要)	実施エリア	H28年度の実施状況	H28事業費 (千円)	課題・今後の見通し	今後のスケジュール(予定)					数値目標 (別途あれば)	局	課	備考	
							H28	H29	H30	H31	H32					
自然環境保全事業	生物多様性保全推進経費	本市の自然及び環境の変化等を長期的に見ていくため、指標種を設定し、その効果的なモニタリング手法等について検討するとともに、継続的なモニタリングの実施による情報蓄積の仕組みを構築する。	熊本市全域	H28年度、熊本市自然環境モニタリング手法等の検討業務として外部へ委託し、専門家の意見を伺いながら指標種の選定、そのモニタリング手法等について検討した。	3,999	H29年度以降、既存の活動団体に協力をお願いし、できるところから指標種のモニタリングについて実施予定。	検討	検討・試行	→	実施	→		無	環境局	環境共生課	

3) 市民参加型の生物多様性のモニタリングの検討・実施

事業・取組	細事業	事業・取組の内容(概要)	実施エリア	H28年度の実施状況	H28事業費 (千円)	課題・今後の見通し	今後のスケジュール(予定)					数値目標 (別途あれば)	局	課	備考	
							H28	H29	H30	H31	H32					
自然環境保全事業	生物多様性保全推進経費	市民や活動団体と連携・協働し、自然環境のタイプを代表する指標種についての継続的なモニタリングを行う。	熊本市全域	H28年度は、専門家の意見を伺いながらモニタリングの手法等について検討するとともに、実際のモニタリングの受け皿と成り得る団体との調整等を行った。	0	モニタリングの実施にあたっては、適宜、専門家の意見を伺いながら進めていくとともに、核となる団体等との調整を図り、取組を推進していく。	検討	検討・試行	→	実施	→		無	環境局	環境共生課	

平成28年度熊本市生物多様性関連事業実施状況(詳細)

基本戦略2 学び、つながる

生物多様性の認識の向上、連携体制の構築

I 個別の事業ごとの実施状況

1. 生物多様性の認識の向上

1) 熊本市の特徴を踏まえた普及啓発ツール・学習プログラムの作成や、生物多様性に関するイベント・出前講座、自然体験ができる学習等の実施  
(環境フェア、動植物園等を活用した普及啓発、出前講座や勉強会、公園における自然体験等

事業・取組	細事業	事業・取組の内容(概要)	実施エリア	H28年度の実施状況	H28事業費 (千円)	課題・今後の見通し	今後のスケジュール(予定)					数値目標 (別途あれば)	局	課	備考	
							H28	H29	H30	H31	H32					
自然環境保全事業	生物多様性保全推進経費	環境フェアのブース等その他活用した普及啓発の実施、生物多様性に関する普及啓発ツールの作成	動植物園ほか	H28年度は、地震の影響により、環境フェアは中止(復興期間中は休止)。生物多様性ミニシンポジウムを開催。県主催の総ぐるみくまもと環境フェアや緑のじゅうたんサポーター啓発イベントでの普及啓発を実施した。また、熊本市の生物多様性に関する取組の紹介等を記載した季刊ニュースレター「くまもとCだより」を発行。	0	今後も様々なイベントに参加し、普及啓発を行っていく。また、生物多様性に関する普及啓発ツールの作成については、H29年度以降に改めて検討していく予定。	継続(一部検討)	→	→	→	→	→	無	環境局	環境共生課	
自然環境保全事業	森林学習館管理経費	金峰山・森林学習館の運営、効果的な活用	北区貢町小萩	森林学習館は、指定管理により運営。親子木工体験教室や森林・林業体験学習など、施設ならではの展示等を行い集客に努めた。	3,863	H29年度で現在の指定管理は終了となるため、その後あり方等については改めて十分な検討が必要である。	継続	→	→	→	→	→	無	環境局	環境共生課	
環境啓発事業	わくわく江津湖フェスタ環境フェア開催経費	環境フェア開催 毎年5月に環境フェアを実施し、生態系を含めた環境全般についての啓発事業を行っている。	動植物園	H28年度は、地震の影響により、動植物園での環境フェアは中止(復興期間中の休止を決定)。	約1,000 (中止に伴う経費)	環境フェアについては、一定期間の休止としたが、他のイベント等を活用するなどPRIについては継続して実施していく。	休止	→	→	→	→	→	無	環境局	環境政策課	
環境啓発事業	市民啓発経費	科学的な体験学習や自然観察会を開催するとともに、出前講座への講師の派遣等、教育現場や地域活動における環境学習を積極的に支援する。	江津湖金峰山その他河川・湧水地等	カブトムシ・クワガタ飼育講座、水生生物ウォッチング、親子環境探検隊等、地震の影響により12月まで中止。依頼による出前講座は6月から一部再開。1月に親子環境探検隊(江津湖水鳥観察)を実施。	1,035	経費削減を含め、細部を見直す。また学習支援(出前)に関しては、生涯学習課の取りまとめがなくなったため、広報及び受付の手段等を検討。	事業は継続するが、一部中止	継続	→	→	→	→	各回定員30名程度	環境局	環境総合センター	
環境啓発事業	市民啓発経費	科学的な体験学習や自然観察会を開催するとともに、出前講座への講師の派遣等、教育現場や地域活動における環境学習を積極的に支援する。生物多様性講座の一環として、草花の観察・同定を行うもの。仮題「雑草という名の草は無い」	環境総合センター敷地内	震災のため予定していた講座を中止。今後の開催のために四季の植物の写真等を収集中。	0	環境総合センター敷地内については目処が立ったが、他の場所での実施については検討中。	検討	検討及び試行	→	→	→	→	無	環境局	環境総合センター	
水産業地域交流促進事業	市民と水産業の交流促進事業	小学生を主な対象とした干潟体験や出前講座を実施することで、市民と漁業者との交流促進や水域環境の保全への意識啓発を図る。	有明海(小島地区)・市内小学校	H28年9月、泉ヶ丘小学校5年生(51名)、教職員(3名)を対象に干潟体験を行った。また、出前講座はH29年2月に同小にて実施予定。	134	干潟体験においては、天災(地震・豪雨等)により体験場所の確保が困難な場合がある。	継続	→	→	→	→	→	無	農水局	水産振興センター	
観光イベント・観光資源掘り起こし事業	にぎわいづくり推進経費	わくわく江津湖フェスタ開催にかかる民間団体等への各種支援。	江津湖周辺	熊本地震の影響で中止	0 (中止のため減額)	事業は、H28年度で終了	中止	終了	-	-	-	-	無	経済観光局	イベント推進課	
動植物園管理運営事業	都市緑化植物園管理経費	肥後六花の栽培・展示 樹木見本園に、肥後椿、肥後山茶花、肥後芍薬、肥後花菖蒲を植栽。肥後朝顔については保存会の協力を得て展示会を実施。	動植物園植物ゾーン	樹木見本園に、肥後椿、肥後山茶花、肥後芍薬、肥後花菖蒲を植栽。肥後朝顔展示会は地震による臨時休園により休止	0	今後も樹木見本園に、肥後椿、肥後山茶花、肥後芍薬、肥後花菖蒲を植栽。肥後朝顔展示会は復旧工事の進捗状況で実施予定	一部休止	継続	→	→	→	→	無	経済観光局	動植物園	
魅力ある動植物園づくり事業	都市緑化植物園管理経費	親子自然観察会「江津湖の生き物ウォッチング」貴重な江津湖の動植物を観察し、「自然のすばらしさ」を親子で体感するもの。	動植物園植物ゾーン、江津湖周辺	地震による臨時休園により休止	30	H29年度は予算削減のため休止、H30年度から再開予定	休止	再開	→	→	→	→	無	経済観光局	動植物園	
動植物園管理運営事業	都市緑化植物園管理経費	植物観察会「春の七草を知ろう」園内や江津湖に自生する「春の七草」を現地で観察し、七草の種類、風習などを学び、自然環境に関心をもつ心を養うための観察会。	動植物園植物ゾーン	地震による臨時休園により休止	10	H29年度から再開予定	休止	再開	→	→	→	→	無	経済観光局	動植物園	
動植物園管理運営事業	動植物園一般管理経費	野鳥の観察会 日本野鳥の会の講師と一緒に、多くの渡り鳥が飛来してくる豊かな自然に恵まれた江津湖と動植物園内の野鳥を観察。江津湖散策マップの作成・配布	動植物園動物ゾーン	地震による臨時休園により休止	0	H29年度から再開予定	休止	再開	→	→	→	→	無	経済観光局	動植物園	
魅力ある動植物園づくり事業	集客対策経費	ホテルの観察会 5月中旬に園内の日本庭園で、市民を対象としたホテル観察会を実施。	動植物園日本庭園	地震による臨時休園により休止	0	H30年度から再開予定	休止	再開	→	→	→	→	無	経済観光局	動植物園	
動植物園管理運営事業	動植物園一般管理経費	肥後五鶏の飼育・展示・講習会 肥後ちゃぼ保存会の協力を得て、熊本の地鶏「肥後五鶏」を飼育、展示。伝統文化についての啓発を図るため、年1回講習会「肥後五鶏を知ろう」を開催し、特徴等について解説。	動植物園動物ゾーン	地震による臨時休園により休止	10	H29年度から再開予定	休止	再開	→	→	→	→	無	経済観光局	動植物園	

平成28年度熊本市生物多様性関連事業実施状況(詳細)

事業・取組	細事業	事業・取組の内容(概要)	実施エリア	H28年度の実施状況	H28事業費 (千円)	課題・今後の見通し	今後のスケジュール(予定)					数値目標 (別途あれば)	局	課	備考
							H28	H29	H30	H31	H32				
動物の生態環境や生態についての、「教育・環境教育」		・動物ガイド 江津湖淡水魚に関する動物ガイドを実施	動物園 動物資料館	地震による臨時休園により 休止	0	H29年度から再開予定	休止	再開	→			無	経済観光局	動物園	
動物の生態環境や生態についての、「教育・環境教育」		・動物ガイド ニホンザルと人との共生及び動物と里山のかかわりに関するガイド	動物園 動物ゾーン	地震による臨時休園により 休止	0	H29年度から再開予定	休止	再開	→			無	経済観光局	動物園	
動物の生態環境や生態についての、「教育・環境教育」		動物舎への植栽など、生息地環境にできるだけ近づけることを目的とした参加型イベントによる環境教育	動物園 動物ゾーン	地震による臨時休園により 休止	0	H29年度から再開予定	休止	再開	→			無	経済観光局	動物園	
動物の生態環境や生態についての、「教育・環境教育」		傷病鳥獣など、野生復帰できない動物を用いた環境教育	動物園 動物ゾーン	地震による臨時休園により 休止	0	H29年度から再開予定	休止	再開	→			無	経済観光局	動物園	
動物の生態環境や生態についての、「教育・環境教育」		ニホンザルエリアにおける田植え、稲刈りなどの参加型イベントによる環境教育	動物園 動物ゾーン	地震による臨時休園により 休止	0	H30年度から再開予定	休止	→	再開	→		無	経済観光局	動物園	
生息環境を再現した展示		・動物園再編成整備事業 リニューアルされたニホンザルエリアにおける展示コンセプト“人と動物の共生”として、球磨郡相良村の生息環境を再現した施設を建設。	動物園 動物ゾーン	H25にすでに建設完了	0	終了	終了	-	-	-	-	無	経済観光局	動物園	
「生態系のしくみ」というタイトルでの多様性に関する講話(一般向け)		身近な自然環境に見られる多様性と外来種問題について話す。講話と観察会を組み合わせることもある。	主に熊本市内	H28年度は依頼がなく、実施しなかった。	0	休館時・開館時間問わず、依頼のあるときのみ対応する。	継続	→	→			無	教育委員会	熊本博物館	
生物多様性に関連した勉強会等の講師		メインテーマは依頼者が設定するが、必ず生物多様性に主眼を置いて話を進める。	主に熊本市内	2回実施。	0	休館時・開館時間問わず、依頼のあるときのみ対応する。	継続	→	→			無	教育委員会	熊本博物館	
自然観察会		身近な自然の観察を通して多様性について考える	主に熊本市内	現在、博物館がリニューアル工事中であるため、主催事業としては実施していない。外部から依頼された場合のみ講師として携わった。28年度は3回実施。	0	現在、博物館がリニューアル工事中であるため、外部から依頼された場合のみ講師として携わる予定。	継続	→	→			無	教育委員会	熊本博物館	
動物学講座		動物としてのヒトが、自然といかに関わっていくべきか常に考えながら学ぶ。	主に熊本市内	現在、博物館がリニューアル工事中であるため、実施していない。	0	博物館リニューアル後開始の予定。	休止	→	再開	→		無	教育委員会	熊本博物館	
		・干潟フェスタ 干潟に棲む生物の観察やパネル展示、クイズラリーなどを通じて有明海の環境や干潟を知ってもらう。	熊本港周辺 干潟	未実施	0	事務局から、金銭面や人員不足等の課題により廃止予定と聞いている。	未実施	廃止予定	-	-	-	無	都市建設局	交通政策総室	

2) ウェブサイトやSNS、市政だより等を活用した熊本市の生物多様性に関する情報の積極的な発信

事業・取組	細事業	事業・取組の内容(概要)	実施エリア	H28年度の実施状況	H28事業費 (千円)	課題・今後の見通し	今後のスケジュール(予定)					数値目標 (別途あれば)	局	課	備考
							H28	H29	H30	H31	H32				
自然環境保全事業	生物多様性保全推進経費	生物多様性に関するウェブページの整備等普及啓発の実施	熊本市全域	H28年度は、3月、すばいすを活用して生物多様性に関する広告を掲載予定。	700	環境ポータルサイトの導入は未定。当面は、市ホームページやすばいす広告を活用した啓発等を実施していく。	継続	→	→			無	環境局	環境共生課	
自然環境保全事業	生物多様性保全推進経費	環境共生課が窓口となり(庁内への定期的な関連調査の照会とデータ提供依頼、データベースの整理)、博物館・生物等に関する専門的調査や助言及び関連論文等の収集、環境総合センター:データ収集及び分析・研究、動物園:情報の発信等。	熊本市全域	H29年1月から2月、庁内推進会議の立ち上げとともに、庁内の関係各課に対して、関連事業の進捗状況調査を実施。 また、H28年11月から毎月1回、熊本博物館、環境総合センター、動物園の4課で集まり、生物多様性の推進に向けた協議の場を設けた(4課連携プロジェクト)。	0	今後も情報提供、把握に努めるとともに、庁内向けには改めて研修等も計画中。 また、生物多様性の推進に向けては横の連携も必要なことから、4課合同会議は継続して実施し、その第一弾として、H29年5月の生物多様性の日に合わせた啓発イベントを計画中。	継続	→	→			無	環境局 経済観光局 教育委員会	環境共生課 環境総合センター 動物園 熊本博物館	「知る」再掲
			江津湖一帯 金峰山系	不定期ではあるが、江津湖周辺で見られる魚類を中心とした生物についてモニタリングを実施した。 4月から11月の間、金峰山系某所に自動撮影装置を設置し、主に哺乳類のモニタリングを実施した。	0	博物館がリニューアル工事中であるため、しばらくは調査に当てる時間の確保が難しい。	継続	→	→			無	教育委員会	熊本博物館	
動物資料館事業		・動物資料館事業 江津湖における魚類の生息状況展示及び江津湖環境に関する情報発信、江津湖に棲む外来生物の影響等の情報発信・啓発	動物園 動物資料館	地震による臨時休園により 休止	0	H29年度から再開予定	休止	再開	→			無	経済観光局	動物園	

平成28年度熊本市生物多様性関連事業実施状況(詳細)

2. 教育の推進・人材の育成

1) 市役所における生物多様性の浸透の推進

事業・取組	細事業	事業・取組の内容(概要)	実施エリア	H28年度の実施状況	H28事業費 (千円)	課題・今後の見通し	今後のスケジュール(予定)					数値目標 (別途あれば)	局	課	備考
							H28	H29	H30	H31	H32				
自然環境保全事業	生物多様性保全推進経費	庁内推進会議等を中心にした計画の進捗の把握・見直しほか庁内連携の推進	熊本市	H28年度は庁内推進会議を新たに立ち上げ、1月から2月にかけて、関連の取組を実施した各課に個別説明を実施し、その取組の進捗状況調査のみ実施した。	0	H29年度は、4月から5月に庁内職員向けの研修やH28年度評価の振り返りなどを予定。9月頃、取組等の中間報告やH30年度事業の予算要求状況などを共有し、年明けにH29年度事業の進捗状況等について照会予定。	新規取組	継続	→			無	環境局	環境共生課	

2) 学校における生物多様性に関する教育の推進

(理科や総合的な学習の時間等の生物多様性分野に関する学習の充実、学校や教員が利用できる生物多様性に関する学習の支援ツールの作成、動植物園での教員に対する生物多様性に関する研修の)

事業・取組	細事業	事業・取組の内容(概要)	実施エリア	H28年度の実施状況	H28事業費 (千円)	課題・今後の見通し	今後のスケジュール(予定)					数値目標 (別途あれば)	局	課	備考	
							H28	H29	H30	H31	H32					
環境教育担当者会		各小中学校の環境教育担当者向けに、環境教育実践事例の講話や本市環境局各課からイベントや学習教材等を紹介し、学校における環境教育の一層の充実を図る。	熊本市食品交流会館	全小中学校(137校)の環境教育担当者が参加し、①環境教育についての指導・連絡、②本市環境局関係各課からの連絡を行った。環境共生課から、「熊本市生物多様性戦略」の策定について紹介があった。	17 ※震災のために会場を変更したため	震災のため、環境教育実践事例の講話が実施できなかった。次年度は、環境教育が充実し、特色のある取組ができていない学校に依頼し、各校の環境教育の充実が図られるようにする。	継続	→				無	教育委員会	指導課		
勤労体験学習	勤労体験学習事業	勤労体験学習(環境教育の一環としての緑化教育活動、勤労体験活動、愛鳥教育活動等)を、児童生徒の興味・関心をもとに、地域や学校の実情に応じて創意工夫しながら、児童生徒とともに実践する学習活動を通して、児童生徒が勤労を重んじ、豊かな心をはぐくみ、自己実現の力とよりよい公民として社会に貢献できる力を培う。	熊本市立の各小中学校	申請のあった137校(分枝含む)に農地提供者への謝金や勤労体験活動の指導料、需用費を支給し、農地や専門家等を活用した各学校の勤労体験学習の充実を図った。米作りや野菜の栽培、草花の栽培など、児童・生徒が体験しながら学習することができた。	2,490 ※予算額	震災のため、全小中学校で予算を活用した取組とならなかった。次年度は、例年どおり、全小中学校が予算を活用し、充実した勤労体験学習の充実を図る。	継続	→				無	教育委員会	指導課		
学校環境緑化コンクール	教育指導行政経費環境教育	各小中学校における環境緑化活動の取組を評価し、環境緑化の充実に向けて助言するなど、主体的に緑豊かな環境づくりに取り組む児童生徒の育成を支援する。	参加した熊本市立小中学校	審査部門には36校が参加し、事前審査を通過した26校で現地審査を行い、各校の環境緑化活動の取組を評価・助言した。相談助言部門は、24校で緑化相談会を実施し、各学校の管理職や緑化担当者に相談助言委員が助言・指導した。	91 ※予算額 + 熊本市地域みどり推進協議会費	震災のため、審査部門の参加校が9校減少した。次年度は、例年通りの参加数をめざし、各学校の環境緑化活動の充実を図る。	継続	→				無	教育委員会(環境局)	指導課(環境共生課)		
学校教育支援事業	学校教育支援事業(博物館・指導課)経費	博物館の収蔵資料や学芸員の専門的な知識を、学校教育での学習活動に活用する。	熊本市内の小中学校	清水小学校、大江小学校、碩台小学校、西原小学校などからゲストティーチャーの派遣要請を受け、延べ10プログラム・30時間程度の授業を行った(H29年1月末現在)。リニューアル後の館内学習プログラム検討中。	0	依頼に応じて可能な範囲で継続。リニューアル工事に伴い、活用資料は引越・倉庫保管中のため、実資料の多くは持参できない状況。学習内容についての事前打ち合わせ時間の確保や開催日時の調整が必要。	継続	→				毎年10校程度へのゲストティーチャー派遣	教育委員会	熊本博物館		
総合的な学習への協力		身近な自然環境に見られる多様性と外来種問題について話す。講話と観察会を組み合わせて行うこともある。	熊本市内の小中学校	画図小学校4年生、出水南小学校5年生の2校で計3回実施。	0	依頼のあるときのみ対応する。	継続	→				無	教育委員会	熊本博物館		
レクリエーション指導者セミナー開催	地域子ども活動推進事業	子どもたちが様々な野外体験活動などを通して、「生きる力」を育むことができるよう青少年活動(野外活動等)の指導者を養成し、安全で教育的効果の高い青少年活動を推進する。	金峰山少年自然の家	地震の影響により実施なし	106	事務事業の見直しにより事業を縮小する ※セミナー縮小のため金峰山での実施については今後検討予定(セミナー1回/4回)	休止	再開	継続	→		無		市民局	生涯学習課	
自然環境保全事業	生物多様性保全推進経費	普及啓発媒体・学習教材の検討・作成	熊本市東区	小学生を対象とした生物多様性啓発事業として、泉ヶ丘小学校4年生(約50名)に対し、出前教室を試行。	0	小学校等への生物多様性に関する教育を推進するため、出前講座の実施とともに、学習支援ツールの作成についての検討を進める。	-	検討	→			無	環境局	環境共生課		

3. 連携・協働体制の構築

1) 多様な主体間の連携・協働のためのプラットフォームの構築

事業・取組	細事業	事業・取組の内容(概要)	実施エリア	H28年度の実施状況	H28事業費 (千円)	課題・今後の見通し	今後のスケジュール(予定)					数値目標 (別途あれば)	局	課	備考	
							H28	H29	H30	H31	H32					
自然環境保全事業	生物多様性保全推進経費	生物多様性推進会議をベースに検討	熊本市全域	将来的なプラットフォーム化を検討する中で既存の活動団体等から意見を伺うなどした。	0	核となる団体と準備会合を行い、具体的な内容や体制について検討を進める。	検討	→	プラットフォーム化	→			無	環境局	環境共生課	

2) 地域住民等様々な主体との連携・協働による生物多様性の保全と活用の取組の推進(放置竹林対策、外来種侵入警戒モニタリング等)

事業・取組	細事業	事業・取組の内容(概要)	実施エリア	H28年度の実施状況	H28事業費 (千円)	課題・今後の見通し	今後のスケジュール(予定)					数値目標 (別途あれば)	局	課	備考	
							H28	H29	H30	H31	H32					
自然環境保全事業	自然環境保全経費	地域住民や、被害の出やすい農業者、専門家のネットワーク等を活用するとともに、庁内連携等を強めることによる、スパルティナ、アライグマ等の侵入警戒の早期発見体制の検討・構築	熊本市全域	アライグマに関しては、農業支援課や動物愛護センターと3課で、錯誤捕獲した場合の対応等について協議を行うなどした。	0	H29年度、アライグマ対策として、植木、城南などリスクの高い地域での生息状況調査のほか、地域住民や団体等を対象とした防除講習会(農業支援課と適宜連携)を実施予定で、生息状況を踏まえた監視体制の構築を目指す。	検討	講習会実施・監視体制構築	実施	→			無	環境局	環境共生課ほか	「守る」再掲

平成28年度熊本市生物多様性関連事業実施状況(詳細)

事業・取組	細事業	事業・取組の内容(概要)	実施エリア	H28年度の実施状況	H28事業費 (千円)	課題・今後の見通し	今後のスケジュール(予定)					数値目標 (別途あれば)	局	課	備考		
							H28	H29	H30	H31	H32						
自然環境 保全事業	自然環境 保全経費	・放置竹林整備モデル事業 里地・里山で長年人の手入れがなされず放置されている竹林の整備を行う団体への助成し、モデル事業を抽出する。放置竹林モデル事業の実施と成果を踏まえた管理手法・体制の検討を実施予定。	西区池田 2丁目外5 箇所	・H26～H28年度までの3ヶ年で事業に取り組む3団体が各々、西区池田2丁目、東区戸島本町、西区小島8丁目の圃場で、放置竹林整備モデル事業を展開中。 ・H27～H29年度までの3年間で、同様に3団体が、北区北迫町、東区小山1丁目、南区域南町にてモデル事業を展開中。 ・H28年度は、9月にモデル事業の募集を行うが申請が無く、事業費は2月補正にて減額へ。	1,110 (補正後 0)	当モデル事業は、H27年度の申請団体まで実施(H29年度完了)。 今後は、実施団体からの報告をもとに事業の検証作業を進めるとともに、事例の紹介や放置竹林の効果的な整備手法などについて検討していく。	実施 6団体 事例の紹介	実施 3団体	事業の検証・検討					近年問題化している放置竹林の改善に向けた取組、取組団体の事例等についてのHP掲載数累計(増加)	環境局	環境共生課	「守る」再掲
自然環境 保全事業	保存樹木等保全経費	・健軍タブノキの保全 地元住民と連携し、地元の象徴的なタブノキを保全している	東区健軍 3丁目	H28年度は、職員及び樹木医による定期巡回、また、8月にはタブノキを守る会と一緒に草刈りなど周辺整備を実施した。	300	今後も定期的な巡回等を実施するとともに、ふれあい美化ボランティア制度を活用し、市民と行政が一体となり協働で健軍タブノキを保全していく。	継続						無		環境局	環境共生課	「守る」再掲
広域連携 協働事業	広域水保全対策運営経費	熊本地域が一体となって地下水保全対策を推進するため、熊本県、熊本地域11市町村、くまもと地下水財団、事業者、住民と協働し広域的な取り組みを展開。	熊本地域 11市町村	くまもと地下水財団「第1次中長期基本計画」に基づき、公益目的4事業を推進。 ・地下水環境調査研究事業 ・地下水質保全対策事業 ・地下水涵養推進事業 ・地下水採取・使用適正化推進事業	9,459	熊本県、熊本地域11市町村、くまもと地下水財団が更なる連携を図り、恵まれた水資源を後世に守り伝える。	継続						無		環境局	水保全課	「守る」再掲
広域連携 協働事業	白川中流域交流連携事業	本市にとって重要な地下水分かん養域である白川中流域において、次世代を担う子供たちが、田植えや稲刈り等の農業体験を通じて、農業がもたらす地下水への効果を学習し、併せて、流域の交流を進めることにより、将来へと続く相互理解を深めるもの。	白川中流域(大津町、菊陽町)	H28年度は、熊本地震により、白川中流域の農地や水路に基大な被害に見舞われ、水稲作付けができなかったため、6月の田植え体験、10月の稲刈り体験を休止した。	0	農地や水路の災害復旧工事により、早期の再開を見込んでいるが、本市の復旧・復興を優先させることから、当該事業への参加を一時見送り、様々な状況を考慮しながら、参加復帰を目指す。	休止	再開 (不参加)					無	復帰	環境局	水保全課	「守る」再掲
広域連携 協働事業	水源の森づくりボランティア活動経費	熊本地域の地下水の現状について認識を深めるとともに、森林作業(植付・下刈・間伐・枝打等)や上流域でのふれあい活動(林産品等の加工等)を通じて、山林を保全するために必要とされる知識・技術の習得を通じ、ボランティアの育成を図るもの。	大津町、 西原村、 南阿蘇村	H28年度は、熊本地震や豪雨災害により、阿蘇方面へ行く道路が通行止めであったり、体験予定地の斜面が崩落していたり、亀裂が入るなどの被害があったため、参加者の安全を考慮し、年4回の活動を休止した。	0	今後、本市の復旧・復興を優先させることから、当該事業を一時休止し、活動場所である森林の状況や、活動内容を再検討しながら、事業の再開を目指す。	休止						無	再開	環境局	水保全課	「守る」再掲
人と動物との共生 推進事業	野生鳥獣対策事業	被害地域が主体となった被害未然防止対策の推進 鳥獣の捕獲による個体数管理の推進	熊本市全域	被害未然防止対策について、啓発チラシを配布するとともに現地にて助言を行い、被害地域が主体となった被害未然防止対策が行えるよう促している。また、鳥獣の捕獲による個体数管理に取り組んでいる。	708	住宅地等におけるイノシシやシカ等の野生動物の出没件数が増加していることから、今後も引き続き、被害未然防止対策の普及・啓発に努めるとともに、捕獲による個体数管理に取り組む。	継続						無		健康福祉局	動物愛護センター	
公園維持 管理事業	公園維持管理経費	本市の緑の骨格として貴重な緑である託麻三山のうち、神園山小山山緑地について、良好な環境を保全するとともに、地域コミュニティの構築及び住民の地域に対する愛着を深めることを目的として、委託契約及びボランティア協定を締結し「市民協働による里山づくり」を進めている。	神園山小山山緑地	地域住民への委託契約による除草及びボランティア協定による苗木の植え付け、公園の利用促進に関する活動、清掃等を実施。市では竹伐採等を実施。	790	神園山小山山緑地は、NP O等の団体も活動しており、各団体の調整を図りながら良好な環境を保全していく必要がある。今後も多様な団体と協働しながら、事業を継続していく。	継続						無		都市建設局	東部土木センター 河川公園整備課	「守る」再掲
公園維持 管理事業	公園維持管理経費	本市の緑の骨格として貴重な緑である託麻三山のうち、戸島山緑地について、良好な環境を保全するとともに、地域コミュニティの構築及び住民の地域に対する愛着を深めることを目的として、委託契約及びボランティア協定を締結し「市民協働による里山づくり」を進めている。	神園山小山山緑地	地域住民への委託契約による除草及びボランティア協定による竹伐採、清掃、緑地利用促進に関する活動を実施。市ではゴミ回収を実施。	492	今後も多様な団体と協働しながら、事業を継続していく。	実施 【新規】	継続					無		都市建設局	東部土木センター 河川公園整備課	「守る」再掲
安定した農業生産・集出荷の推進	農作物鳥獣被害対策事業	イノシシ等農作物に害を及ぼす鳥獣類の駆除のほか、県と連携しクリハラリスなど外来生物の監視	熊本市全域	有害鳥獣駆除隊によるイノシシ等の駆除を行うとともに、関係部局とアライグマに関する情報共有を図った。	6,000	今後は、農業者を対象とした勉強会を開催するなどしてアライグマの目撃情報や生息痕跡等の収集に努め、関係部局との情報共有を図り、被害防止対策を進めていく。	継続						無		農水局	農業支援課 各農業振興課	「知る」「守る」再掲

平成28年度熊本市生物多様性関連事業実施状況(詳細)

基本戦略3 守る 生物の生息・生育地の保全

I 個別の事業ごとの実施状況

1. 絶滅危惧種の保全

1) 市内に生息・生育する絶滅危惧種の保全の方向性の検討

事業・取組	細事業	事業・取組の内容(概要)	実施エリア	H28年度の実施状況	H28事業費 (千円)	課題・今後の見通し	今後のスケジュール(予定)					数値目標 (別途あれば)	局	課	備考
							H28	H29	H30	H31	H32				
※検討中		市民参加モニタリング、県や地元の有識者等との情報共有のネットワーク構築による情報収集を踏まえた保全方針の検討	熊本市全域	未だ検討中。地震の影響により進捗が遅れている。	0	取組は必要だが、優先順位を付け進めていく。	-	検討	→			無	環境局	環境共生課	

2) 関係機関と連携した保全対策の実施

事業・取組	細事業	事業・取組の内容(概要)	実施エリア	H28年度の実施状況	H28事業費 (千円)	課題・今後の見通し	今後のスケジュール(予定)					数値目標 (別途あれば)	局	課	備考
							H28	H29	H30	H31	H32				
自然環境保全事業	立山山管理経費	立山山麓の森の維持管理における県との連携によるトダスゲ等の保全など	立山山麓の森(トダスゲ湿地など)	トダスゲ、アカササゲ等の生育が見られる箇所の下草刈については、通常の作業と時期をずらし、種が落ちた後に行うよう保全策を実施。	0	適宜、専門家にも協力していただき、巡回とともに保全策を実施していく。	継続	→				無	環境局	環境共生課	
		公園・河川・森林等の管理における保全への配慮	水前寺江津湖公園	指定管理者による希少種に配慮した草刈等の実施や希少種の保全活動を実施	0	動植物に詳しい職員の確保、後継者への引継ぎ	継続	→				無	都市建設局 その他	公園課	
		公園・河川・森林等の管理における保全への配慮	東部土木センター管内	公園内樹木の害虫駆除について、極力農薬を使用しない駆除方法(捕殺)を選択。	0	今後も極力農薬を使用しない害虫駆除を実施していく。	継続	→				無	都市建設局 その他	各土木センター	

3) 動植物園における絶滅危惧種の域外保全の実施

事業・取組	細事業	事業・取組の内容(概要)	実施エリア	H28年度の実施状況	H28事業費 (千円)	課題・今後の見通し	今後のスケジュール(予定)					数値目標 (別途あれば)	局	課	備考
							H28	H29	H30	H31	H32				
動植物園管理運営事業	都市緑化植物園管理経費	・スイゼンジノリの保存・栽培 江津湖に自生していたスイゼンジノリの保存・復活を目指した栽培試験を実施している。	動植物園植物ゾーン	動植物園植物ゾーン日本庭園にて栽培試験を実施	0	継続して栽培試験を実施予定	継続	→				無	経済観光局	動植物園	
動植物園管理運営事業	動植物園一般管理経費	・江津湖希少動物の養育・展示 タナゴ等の江津湖希少動物を動物資料館の水槽で養育・展示。	動植物園動物資料館	資料館水槽で飼育・繁殖継続	700 園全体の原材料費	継続して飼育・繁殖・展示を実施予定	継続	→				無	経済観光局	動植物園	
動植物園管理運営事業	動植物園一般管理経費	・保護野生鳥獣の養生飼育・展示 県自然保護課と連携して、ケガなどで保護された野生鳥獣(タカ等)を預かり養生を図るもの。	動植物園動物ゾーン	実施なし	1,570 園全体の医薬材料費	鳥インフルエンザ防疫を考慮すると、今後積極的受入が難しくなるケースが考えられる	実施なし	必要に応じて実施	→			無	経済観光局	動植物園	
絶滅の恐れのある希少動物の保護・繁殖等の“種の保存”		絶滅危惧ⅠA類に分類されているニッポンバラタナゴ、セボシタビラ、絶滅危惧Ⅱ類に分類されているヤマドシマドジョウ、メダカの保護・繁殖	動植物園動物資料館	資料館水槽で飼育・繁殖継続	700 園全体の原材料費(再掲)	継続して飼育・繁殖・展示を実施予定 課題として以前から飼育している江津湖由来とされるニッポンバラタナゴの遺伝子解析が行われていない	継続	→				無	経済観光局	動植物園	
絶滅の恐れのある希少動物の保護・繁殖等の“種の保存”		熊本県レッドデータブックで絶滅危惧Ⅱ類に分類されているヒラモの保護・養殖	動植物園植物ゾーン	動植物園植物ゾーン日本庭園にて保護・養殖を実施	0	継続して栽培を実施予定	継続	→				無	経済観光局	動植物園	
絶滅の恐れのある希少動物の保護・繁殖等の“種の保存”		環境省レッドデータブックで絶滅危惧ⅠA類に分類されているスイゼンジノリの保護・養殖	動植物園植物ゾーン	動植物園植物ゾーン日本庭園にて栽培試験を実施	0	継続して栽培試験を実施予定	継続	→				無	経済観光局	動植物園	
絶滅の恐れのある希少動物の保護・繁殖等の“種の保存”		タナゴ類の繁殖床になるドブガイの繁殖に国内で初の成功、現在も繁殖継続	動植物園動物資料館	資料館水槽で飼育・繁殖継続	700 園全体の原材料費(再掲)	ドブガイの飼育に適した飼育用水の取水が安定していないため、繁殖が安定しない。 地震後死滅したため、再度H29年度から繁殖予定	死滅 休止	再開	→			無	経済観光局	動植物園	

2. 多様な自然環境の保全

1) 環境保護地区等の適切な保全、維持管理の推進(より適切な保全・維持管理の実施に向けた手法の検討等)

事業・取組	細事業	事業・取組の内容(概要)	実施エリア	H28年度の実施状況	H28事業費 (千円)	課題・今後の見通し	今後のスケジュール(予定)					数値目標 (別途あれば)	局	課	備考	
							H28	H29	H30	H31	H32					
自然環境保全事業	自然環境保全経費	・環境保護地区 市域に残る良好な緑地を「環境保護地区」として指定し、保全する。ふるさとの森基金の運用益等により所有者等に対して交付金等を交付している。	熊本市全域	環境保護地区を大切に保全し、後世に引き継いでいくため、ふるさとの森基金を活用し、指定交付金等の助成を行う(3/31交付額の確定、4月以降に順次交付予定)。 ・指定交付金:4,410千円(74件) ・保護協定協力金:3,571千円(101件) ・損害賠償保険料:151千円(対人5億円限度、対物1億円限度)	8,132	これまで地権者の理解と協力を得て大切に守られてきた環境保護地区については、一部で、土地所有者の高齢化などによる管理不足の指摘もあることから、管理実態の把握と、効果的な維持管理の手法などを含め今後の制度のあり方を検討していく。	継続	見直しの検討	見直しの実行	→			無	環境局	環境共生課	

平成28年度熊本市生物多様性関連事業実施状況(詳細)

事業・取組	細事業	事業・取組の内容(概要)	実施エリア	H28年度の実施状況	H28事業費 (千円)	課題・今後の見通し	今後のスケジュール(予定)					数値目標 (別途あれば)	局	課	備考	
							H28	H29	H30	H31	H32					
自然環境 保全事業	保存樹木 等保全経 費	・健軍タブノキの保全 地元住民と連携し、地元の 象徴的なタブノキを保全して いる	東区健軍 3丁目	H28年度は、職員及び樹木 医による定期巡回、また、8 月にはタブノキを守る会と一 緒に草刈など周辺整備を実 施した。	300	今後も定期的な巡回等を実 施するとともに、ふれあい美 化ボランティア制度を活用 し、市民と行政が一体となり 協働で健軍タブノキを保全し ていく。	継続	→	→	→	→	→	無	環境局	環境共生 課	「学び、つ ながる」再 掲
自然環境 保全事業	立田山管 理経費	・立田山憩の森の保全管理 生活環境保全林の保全管 理(下草刈、清掃、施設の 維持管理や希少種の保護 等)を実施。	立田山憩 の森	立田山憩の森において、下 草刈や樹木の支障枝の剪 定、施設の維持管理など、 適正な保全管理を実施。	25,138	今後も適正な維持管理に努 め、多くの市民に緑豊かな 憩の森として快適な緑地の 提供を行っていく。	継続	→	→	→	→	→	無	環境局	環境共生 課	
自然環境 保全事業	金峰山等 森林管理 経費	・金峰山等森林管理 金峰山周辺にある国や民有 地と分収林契約を締結し、 市で造林を行った林地につ いて保育管理を実施(183. 31ha)。	金峰山周 辺	国と分収林契約を締結して いる林地のうち、2.49haに ついて保育間伐を実施し た。	4,799	今後は、H27年度に策定し た森林経営計画(5ヶ年)に 基づき、計画的な間伐等 を実施していく。	継続	→	→	→	→	→	無	環境局	環境共生 課	
寂心さん の樹木保 存	寂心緑地 整備関連 経費	県の指定天然記念物である 「寂心さんの樟」について、 樹勢の回復措置及び支柱 の設置等を行う。	北区北迫 町	樹勢の回復措置及び支柱 の設置等。	15,560	H29事業完了予定	継続	完了	-	-	-	-	無 (樹勢回 復)	都市建設 局	北部土木 センター 河川公園 整備課	

2) 放置竹林対策の効果的な手法の検討・推進、農地の多面的機能の維持・発揮の取組、耕作放棄地の再生利用の推進等による里地里山の保全

事業・取組	細事業	事業・取組の内容(概要)	実施エリア	H28年度の実施状況	H28事業費 (千円)	課題・今後の見通し	今後のスケジュール(予定)					数値目標 (別途あれば)	局	課	備考	
							H28	H29	H30	H31	H32					
自然環境 保全事業	自然環境 保全経費	・放置竹林整備モデル事業 里地・里山で長年人の手入 れがなされず放置されて いる竹林の整備を行う団体 への助成し、モデル事業を 抽出する。放置竹林モデル 事業の実施と成果を踏まえ た管理手法・体制の検討を 実施予定。	西区池田 2丁目外5 箇所	・H26～H28年度までの3ヶ 年で事業に取り組む3団体 が各々、西区池田2丁目、 東区戸島本町、西区小島8 丁目の圃場で、放置竹林整 備モデル事業を展開中。 ・H27～H29年度までの3年 間で、同様に3団体が、北 区北迫町、東区小山1丁目、 南区城南町にてモデル事業 を展開中。 ・H28年度は、9月にモデル 事業の募集を行うが申請が 無く、事業費は2月補正にて 減額へ。	1,110 (補正後 0)	当モデル事業は、H27年度 の申請団体まで実施(H29 年度完了)。 今後は、実施団体からの報 告をもとに事業の検証作業 を進めるとともに、事例の紹 介や放置竹林の効果的な 整備手法などについて検討 していく。	実施 6団体 事例の紹 介	→	→	→	→	→	近年問題 化している 放置竹林 の改善に 向けた取 組、取組 団体の事 例等につ いてのHP 掲載数累 計(増加)	環境局	環境共生 課ほか	「学び、つ ながる」再 掲
公園維持 管理事業	公園維持 管理経費	本市の緑の骨格として貴重 な緑である託麻三山のうち、 神園山小山山緑地につい て、良好な環境を保全する とともに、地域コミュニティ の構築及び住民の地域に対 する愛着を深めることを目 的として、委託契約及びボ ランティア協定を締結し「市 民協働による里山づくり」 を進めている。	神園山小 山山緑地	地域住民への委託契約によ る下草刈及びボランティア 協定による苗木の植え付 け、公園の利用促進に関す る活動、清掃等を実施。 市では竹伐採等を実施。	790	神園山小山山緑地は、NP O等の団体も活動しており、 各団体の調整を図りながら 良好な環境を保全していく 必要がある。 今後も多様な団体と協働し ながら、事業を継続してい く。	継続	→	→	→	→	→	無	都市建設 局	東部土木 センター 河川公園 整備課	「学び、つ ながる」再 掲
公園維持 管理事業	公園維持 管理経費	本市の緑の骨格として貴重 な緑である託麻三山のうち、 戸島山緑地について、良好 な環境を保全するとともに、 地域コミュニティの構築及び 住民の地域に対する愛着を 深めることを目的として、委 託契約及びボランティア協 定を締結し「市民協働による 里山づくり」を進めている。	神園山小 山山緑地	地域住民への委託契約によ る除草及びボランティア協 定による竹伐採、清掃、緑 地利用促進に関する活動を 実施。 市ではゴミ回収を実施。	492	今後も多様な団体と協働し ながら、事業を継続してい く。	実施 【新規】	継続	→	→	→	→	無	都市建設 局	東部土木 センター 河川公園 整備課	「学び、つ ながる」再 掲
集落機能 の維持・ 活性化事 業	多面的機 能支払交 付金事業	・多面的機能の維持・発揮 地域共同により農用地、水 路、農道等の地域資源の基 礎的な保全管理活動及び 地域資源の適切な保全管 理のための推進活動に取 組む組織に対して交付金を 交付している。	熊本市内 の農振農 用地ほか	熊本市秋津地域農地・水環 境保全管理協定ほか28組 織がH27年度から継続して 活動を行っている。また、 H28年度から尾跡地域資源 保全隊及び大多尾地域資 源保全会が新規に活動を 開始した。 対象農用地面積7,777ha。	593,769	H29年度は新規に1組織が 活動を開始。 また、白石地域資源保全隊 及び十三地域資源保全隊 が飽田多面的機能保全組 織広域協定に統合される。	継続	→	→	→	→	→	市内農振 農用地面 積の80% ※達成済	農水局	農地整備 課 各農業振 興課	
耕作放棄 地再生利 用緊急対 策交付金 事業(国 庫事業)		・耕作放棄地再生利用緊急 対策事業 耕作放棄地を営農可能な状 態にするための取組を行う 者(農業者個人、法人等)に 対し、その取組や必要な施 設の補完整備等に要する経 費について交付金を交付し ている。	西区河内 地域ほか	H28年度見込み 面積:15,371㎡ 補助額:820,000円	国費	利用状況が低調であり、制 度周知のためPRが必要。ま た、これまで耕作放棄地の 再生利用活動のみ事業対 象であったが、発生防止活 動も追加される見込みと なっている。	実施	継続	→	→	→	→	無	農水局	農業・プラ ンド戦略 課	

3) 関係機関と連携した有明海の漁場環境の保全

事業・取組	細事業	事業・取組の内容(概要)	実施エリア	H28年度の実施状況	H28事業費 (千円)	課題・今後の見通し	今後のスケジュール(予定)					数値目標 (別途あれば)	局	課	備考	
							H28	H29	H30	H31	H32					
漁業生産 振興事業	漁場環境 保全対策 推進経費	漁協が行う水域環境・漁場 環境保全に関する取組みを 支援することで、ノリ、アサ リ、ハマグリなどの主要水産 物の安定的な生産を図ると ともに、魚類・甲殻類の幼稚 仔の生息しやすい環境を維 持する。	有明海 (市管内 地先漁 場)	管内3漁協により漁場に堆 積した浮泥等を除去するた めの耕うん作業が行われ た。	330	事業内容が重複するため、 水産多面的機能発揮対策 事業へ統合	実施	廃止	-	-	-	-	無	農水局	水産振興 センター	「活かす」 再掲

平成28年度熊本市生物多様性関連事業実施状況(詳細)

事業・取組	細事業	事業・取組の内容(概要)	実施エリア	H28年度の実施状況	H28事業費 (千円)	課題・今後の見通し	今後のスケジュール(予定)					数値目標 (別途あれば)	局	課	備考	
							H28	H29	H30	H31	H32					
漁業生産振興事業	水産多面的機能発揮対策事業	活動組織(漁業者等)が行う耕うん、保護区設定、生物除去等の水域環境・漁場環境保全に関する取組みを支援することで、ノリ、アサリ、ハマグリなどの主要水産物の安定的な生産を図るとともに、魚類・甲殻類の幼稚仔の生息しやすい環境を維持する。	有明海(管内地先漁場)等	8活動組織により漁場の耕うん、保護区設定、害敵生物除去等の事業が実施された。	8,479	当該事業は国の補助事業であり、事業期間がH32年度までとなっていること。(H32年度以降の事業継続が不透明)	実施						無	農水局	水産振興センター	「活かす」再掲

4) 公共事業における環境アセスメントの実施、熊本市環境配慮指針の遵守等

事業・取組	細事業	事業・取組の内容(概要)	実施エリア	H28年度の実施状況	H28事業費 (千円)	課題・今後の見通し	今後のスケジュール(予定)					数値目標 (別途あれば)	局	課	備考	
							H28	H29	H30	H31	H32					
		環境配慮指針に基づく第1種事業(一定規模以上):チェックシート作成、公共事業環境配慮評価会議で審査 第2種事業(6,000万円以上):チェックシート作成	熊本市全域	第1種事業:1件 第2種事業:11件 (H29年1月30日現在)	0	内容をより判りやすく改訂し、掲載の環境配慮技術の更新についても、関係各課との継続的な検討を行っていく。	継続						無	環境局	環境政策課	
		熊本地震で甚大な被害を受けた水前寺江津湖公園(擁壁、法面等)について、できる限り環境等に配慮した工法を検討し、その後の復旧工事につなげる。 (※基本は原型復旧)	水前寺江津湖公園	災害復旧工事前の事前調査の実施や自然環境に配慮した工法検討	0	計画に基づく工事の実施	計画施工	完了	-	-	-		無	都市建設局	公園課	
環境に配慮した河川整備の推進	広域河川整備経費	一級河川健軍川、藻器堀川、鶯川の設計・改修にあたり多自然川づくりを実施している。	-	-	0	熊本市公共事業環境配慮指針に基づき、事業計画及び整備実施の各段階で環境に配慮した取り組みを行っていく。	随時						無	都市建設局	東部土木センター 河川公園整備課	

3. 外来種対策の実施

1) 特に対策が必要な侵略的外来種のリスト化と対策の方向性の整理、ペットや国内由来の外来種の取り扱いも含めた普及啓発

事業・取組	細事業	事業・取組の内容(概要)	実施エリア	H28年度の実施状況	H28事業費 (千円)	課題・今後の見通し	今後のスケジュール(予定)					数値目標 (別途あれば)	局	課	備考	
							H28	H29	H30	H31	H32					
※検討中		対策すべき侵略的外来種とその対策の方向性の整理(リストアップ)	熊本市全域	未だ検討中。地震の影響により進捗が遅れている。	0	取組は必要だが、優先順位を付け進めていく。	-	検討					無	環境局	環境共生課	
自然環境保全事業	自然環境保全経費	・外来生物対策(オオキンケイギク) 特定外来生物オオキンケイギクの市民への周知、啓発を実施	熊本市全域	H28年5月、オオキンケイギクの周知・啓発及び駆除の協力を依頼(全自治会長あて、約1,000件にチラシを送付)。	0	今後も、オオキンケイギクに対する、周知・啓発、駆除の依頼等を継続して実施していく。	継続						無	環境局	環境共生課	
		・外来生物対策(セアカゴケグモ) 特定外来生物セアカゴケグモの市民への周知、啓発を実施	熊本市全域	市政だより、市ホームページ、ラジオを通して、セアカゴケグモの情報を発信した。	0	継続実施。	継続						無	健康福祉局	生活衛生課	

2) 対策の緊急性が高い外来種に対する関係機関と連携にした計画的かつ効果的・効率的な防除の実施(スパルティナ属、江津湖の水草・魚類、セアカゴケグモ等)

事業・取組	細事業	事業・取組の内容(概要)	実施エリア	H28年度の実施状況	H28事業費 (千円)	課題・今後の見通し	今後のスケジュール(予定)					数値目標 (別途あれば)	局	課	備考	
							H28	H29	H30	H31	H32					
自然環境保全事業	自然環境保全経費	・江津湖地域の指定外来魚の巡視、回収業務 江津湖地域における特定外来生物等による生態系等に係る被害の防止に関する条例の施行に伴う指定外来魚の巡視、回収を実施	江津湖地域	業務委託により、釣り人の巡視や釣り上げた指定外来魚の回収・処分を行うとともに、釣り人に対し条例周知のためのリーフレット配布を行った。1月末までに指定外来魚を231匹(約68kg)回収し、全て肥料化へ。	3,702	今後、釣り人や電気ショックカーによる指定外来魚の回収実績等をもとに、条例の効果を検証していく必要がある。事業については、継続実施。	継続						無	環境局	環境共生課ほか	
自然環境保全事業	自然環境保全経費	・外来生物対策(スパルティナ属) 特定外来生物スパルティナ属対策検討会に加入し、他部署と連携して防除策を検討	坪井川、白川など	H27年度に、国・県・近隣市等で構成する協議会を立ち上げ、H28年度も防除を行う予定であったが、地震の影響により事業休止。	0	今後、協議会、関連漁協等で検討を行い、早期の事業再開を目指す。	休止	再開	継続				根絶	環境局	環境共生課	
漁業生産振興事業	外来魚駆除対策経費	繁殖力が強く、内水面資源の減耗の原因となっているブラックバス、ブルーギル等の魚食性外来魚の捕獲を行う。	江津湖地域	H28年度は地震の影響により事業休止。	0	H29年度以降は、環境共生課の事業へ統合	休止	廃止	-	-	-		無	農水局	水産振興センター	
外来植物の除去	水前寺江津湖公園指定管理経費	指定管理業務の中で水前寺江津湖公園の湖面及び水辺に繁茂する外来植物の除去を行う。	水前寺江津湖公園区域の水面	・指定管理者において水草刈取り船及び和船、人力により水草回収作業を実施(H28年12月末時点:約1,200t回収) ・市民団体・市民ボランティア活動により水草回収作業を実施(回収した水草の搬出は指定管理者が実施)	指定管理料 105,000の内数	・廃棄物処理料の不足のため、回収できる量に限界が出ている。 ・繁茂量が、年々増加している。	継続						無	都市建設局	公園課	
		・外来生物対策(セアカゴケグモ) 関連部署と連携し、特定外来生物セアカゴケグモの生息状況調査や駆除を実施	セアカゴケグモの発生場所及び周辺	生息調査の結果、セアカゴケグモの生息を確認したため、薬剤による駆除を実施した。	0	セアカゴケグモの生態に合わせた調査及び駆除方法を検討し、実施する。 継続実施。	継続						無	健康福祉局	生活衛生課	

平成28年度熊本市生物多様性関連事業実施状況(詳細)

3) 特に大きな被害が想定される外来種に係る市民・団体・専門家等と連携した広域的なモニタリング体制の構築(アライグマ等)

事業・取組	細事業	事業・取組の内容(概要)	実施エリア	H28年度の実施状況	H28事業費 (千円)	課題・今後の見通し	今後のスケジュール(予定)					数値目標 (別途あれば)	局	課	備考
							H28	H29	H30	H31	H32				
※検討中		地域住民や、被害の出やすい農業者、専門家のネットワーク等を活用するとともに、庁内連携等を強めることによる、スパルティナ、アライグマ等の侵入警戒の早期発見体制の検討・構築	熊本市全域	アライグマに関しては、農業支援課や動物愛護センターと3課で、錯誤捕獲した場合の対応等について協議を行うなどした。	0	H29年度、アライグマ対策として、植木、城南などリスクの高い地域での生息状況調査のほか、地域住民や団体等を対象とした防除講習会(農業支援課と適宜連携)を実施予定で、生息状況を踏まえた監視体制の構築を目指す。	検討		実施	→	無	環境局	環境共生課ほか	「学び、つながる」再掲	
安定した農業生産・集出荷の推進	農作物鳥獣被害対策事業	イノシシ等農作物に害を及ぼす鳥獣類の駆除のほか、県と連携しクリハラリスなど外来生物の監視	熊本市全域	有害鳥獣駆除隊によるイノシシ等の駆除を行うとともに、関係部局とアライグマに関する情報共有を図った。	6,000	今後は、農業者を対象とした勉強会を開催するなどしてアライグマの目撃情報や生息痕跡等の収集に努め、関係部局との情報共有を図り、被害防止対策を進めていく。	継続	→	→	→	無	農水局	農業支援課 各農業振興課	「知る」「学び、つながる」再掲	

4) 施設等の管理における外来種の侵入・拡大防止の対策の実施(オオキンケイギクの駆除等)

事業・取組	細事業	事業・取組の内容(概要)	実施エリア	H28年度の実施状況	H28事業費 (千円)	課題・今後の見通し	今後のスケジュール(予定)					数値目標 (別途あれば)	局	課	備考
							H28	H29	H30	H31	H32				
※検討中		対策すべき侵略的外来種に関する情報提供	熊本市全域	未だ検討中。地震の影響により進捗が遅れている。	0	取組は必要だが、優先順位を付け進めていく。	-	検討	→	→	無	環境局	環境共生課		
		施設における侵略的外来種の適切な除去等、侵入・拡大防止の実施	水前寺江津湖公園	草刈等の実施により結果として、外来種の生息・生育エリアの縮小を図る	※草刈額	外来種に関する知識と作業目的の共有化	継続	→	→	→	無	都市建設局ほか	公園課 各施設管理者		
自然環境保全事業	加勢川維持管理経費	特定外来生物(ブラジルチドメグサやボタンウキクサ)の除去を年1回実施している。	加勢川流域	熊本地震により被災した施設の復旧を優先して行ったため、H28年度は休止した。	0	特定外来生物(ブラジルチドメグサやボタンウキクサ)の除去を継続して実施していく。	休止	再開	継続	→	無	都市建設局	東部土木センター		
自然環境保全事業	広域河川維持補修経費	特定外来生物(オオキンケイギク)の除去を実施している。	健軍川、鷺川、藻器堀川沿線	河川除草業務委託により10月に実施した	6,500	特定外来種(オオキンケイギク)の除去を継続して実施していく。	継続	→	→	→	無	都市建設局	東部土木センター		
自然環境保全事業	道路維持保全経費	特定外来生物(オオキンケイギク)の除去を実施している。	龍田内陳3,4丁目、龍田7丁目、北迫町	5、6月に業務委託により回収・処分を実施	450	適時、対応を行っていく	継続	→	→	→	無	都市建設局	北部土木センター 道路課		

4. 広域的な視点での保全対策の実施

1) 熊本地域における地下水保全対策と連携した広域的な生物多様性保全対策の推進(水源かん養林の整備、湛水事業の推進、水田等の農地の保全、硝酸性窒素削減対策の着実な推進等)

事業・取組	細事業	事業・取組の内容(概要)	実施エリア	H28年度の実施状況	H28事業費 (千円)	課題・今後の見通し	今後のスケジュール(予定)					数値目標 (別途あれば)	局	課	備考
							H28	H29	H30	H31	H32				
地下水量保全対策経費	水源かん養林整備経費	森林の持つ水源かん養機能(水資源貯留、水量調節、水質浄化、洪水緩和等)を高度に発揮させるため、河川上流域の水源地域において地下水保全を目的とした森林づくりを推進する。第6次水源涵養林整備5ヶ年計画(H26~30)を策定し、市街地を貫流し本市の地下水とも関連の深い白川上流域において、新規造林事業(約76ha)を実施するほか、併せて、既存の森林の保育管理(下刈、間伐等)を実施するもの。	大津町、西原村、南阿蘇村	H28年度は、南阿蘇村において、原野約4.5haの新規造林を実施したほか、115.5haの下草刈など保育管理を行った。ただし、H28年度の熊本地震や豪雨災害により、復旧・復興事業を優先させるため、当該事業を見直し、間伐業務については先送りした。	60,071	H28年度の熊本地震で、断層に近い造林地では甚大な被害を受けており、斜面の崩落や亀裂がみられるなど、今後も梅雨期の豪雨災害などが心配される。また復旧・復興を優先させるために、計画を一部見直し、5ヶ年を10ヶ年に延長し、年度毎の植栽面積を減らし、間伐等の保育管理を先送りするなど、水源かん養林としての機能を発揮するために、森林の健全な育成を早期に再開することが重要である。	継続	→	→	→	無	環境局	水保全課		
地下水量保全対策経費	白川中流域かん養推進経費	地下水量の保全を目的に、本市の地下水の増加に最も寄与する度合いが高い白川中流域の転作田において、営農の一環として行われる湛水に対し、本市が助成金を交付し、地下水の涵養を図っていくもの。	白川中流域(大津町、菊陽町、熊本市東部地域)	H28年度は、熊本地震により、白川中流域の農地や水路に甚大な被害に見舞われ、水稲作付けができず、転作田での湛水事業も同様に、例年の約2割程度の実施となった。	10,921	白川中流域の農地や水路等の復旧は、早期の完了を目指し工事を進めている。H29年度以降は、一部の地域を除き、例年どおり、湛水事業ができると思われるが、被災された農家の方の営農状況が地震により変わられたところもあるので、これまで通り、湛水事業に参加してもらえよう、水循環型営農推進協議会と協力しながら依頼していく。	継続	→	→	→	人工かん養量 1,710万トン/年	環境局	水保全課		
広域連携協働事業	広域水保全対策運営経費	熊本地域が一体となって地下水保全対策を推進するため、熊本県、熊本地域11市町村、くまもと地下水財団、事業者、住民と協働し広域的な取り組みを展開。	熊本地域11市町村	くまもと地下水財団「第1次中長期基本計画」に基づき、公益目的4事業を推進。 ・地下水環境調査研究事業 ・地下水質保全対策事業 ・地下水涵養推進事業 ・地下水採取・使用適正化推進事業	9,459	熊本県、熊本地域11市町村、くまもと地下水財団が更なる連携を図り、恵まれた水資源を後世に守り伝える。	継続	→	→	→	無	環境局	水保全課	「学び、つながる」再掲	
広域連携協働事業	白川中流域交流連携事業	本市にとって重要な地下水かん養域である白川中流域において、次世代を担う子どもたちが、田植えや稲刈り等の農業体験を通じて農業がもたらす地下水への効果を学習し、併せて、流域の交流を進めることにより、将来へと続く相互理解を深めるもの。	白川中流域(大津町、菊陽町)	H28年度は、熊本地震により、白川中流域の農地や水路に甚大な被害に見舞われ、水稲作付けができなかったため、6月の田植え体験、10月の稲刈り体験を休止した。	0	農地や水路の災害復旧工事により、早期の再開を見込んでいるが、本市の復旧・復興を優先させることから、当該事業への参加を一時見送り、様々な状況を考慮しながら、参加復帰を目指す。	休止	再開(不参加)	→	復帰	無	環境局	水保全課	「学び、つながる」再掲	

平成28年度熊本市生物多様性関連事業実施状況(詳細)

事業・取組	細事業	事業・取組の内容(概要)	実施エリア	H28年度の実施状況	H28事業費 (千円)	課題・今後の見通し	今後のスケジュール(予定)					数値目標 (別途あれば)	局	課	備考	
							H28	H29	H30	H31	H32					
広域連携 協働事業	水源の森 づくりボラン ティア活動 経費	熊本地域の地下水の現状 について認識を深めるととも に、森林作業(植付・下刈・ 間伐・枝打等)や上流域で のふれあい活動(林産品等 の加工等)を通じて、山林を 保全するために必要とされ る知識・技術の習得を通じ、 ボランティアの育成を図るも の。	大津町、 西原村、 南阿蘇村	H28年度は、熊本地震や豪 雨災害により、阿蘇方面へ 行く道路が通行止めであつ たり、体験予定地の斜面も 崩落していたり、亀裂が入る などの被害があつたため、 参加者の安全を考慮し、年4 回の活動を休止した。	0	今後、本市の復旧・復興を 優先させることから、当該事 業を一時休止し、活動場所 である森林の状況や、活動 内容を再検討しながら、事 業の再開を目指す。	休止	再開					無	環境局	水保全課	「学び、つ ながる」再 掲
消費者・ 事業者 ニーズに 対応した 良質な農 産物の生 産拡大	施設管理 (みかん 実験農 場、土壌 病虫検査 室)経費	地下水における家畜排せつ 物や施肥などいわゆる農業 に由来する硝酸性窒素の削 減対策	熊本市全 域	土壌分析を推進し、分析結 果をもとに適正施肥の指導 を行った。 また、関係機関を連携し、家 畜排せつ物の管理や処理 方法について助言した。	2,199	今後も、適正施肥の推進及 び家畜排せつ物の適正な管 理・処理の推進を実施す る。	継続	再開					無	農水局	農業支援 課 各農業振 興課	
地下水を 育む取組 み	水道事業 会計	・地下水かん養事業 林野庁の法人の森林制度 を活用し、「熊本市水道の 森」を開設。更なる地下水か ん養林の保全に取り組むも の。	阿蘇郡 西原村	公益財団法人熊本市上下 水道サービス公社が実施す るバスツアーにおいて、上 下水道局が取り組んでいる 「地下水かん養事業」につい て参加者に現地説明を実 施。 H29年3月実施予定 募集 人数40名	0	引き続き、バスツアー等を通 じて現地で上下水道局が実 施している「地下水かん養 事業」について啓発を行う。	継続	再開					無	上下水道 局	経営企画 課	

2) 阿蘇地域の草原の保全につながる取組の推進(動植物園におけるゾウの餌としての野草利用等)

事業・取組	細事業	事業・取組の内容(概要)	実施エリア	H28年度の実施状況	H28事業費 (千円)	課題・今後の見通し	今後のスケジュール(予定)					数値目標 (別途あれば)	局	課	備考
							H28	H29	H30	H31	H32				
動植物の 生態・習 性及び繁 殖につい ての「調 査・研究」		・大学等研究機関との共同 研究 ニホンザル舎を生息環境展 示が来園者に及ぼす影響を アンケート集計し分析を行っ た。 ニホンザル舎リニューアル に併せ、コンセプトである “奥山と里山”に関するシン ポジウムを実施 阿蘇の野草でゾウを育て る。ゾウと地域環境の再生 と活用の取り組み	動植物園 動物ゾー ン  阿蘇市	チンパンジーの環境エンリッ チメントに関する研究 アフリカゾウの発情回帰に 関する研究 ワオキツネザルの母子間社 会行動に関する研究  アフリカゾウの野草給餌に おける影響 環境相阿蘇自然環境事務 所との共同で阿蘇の草原と アフリカゾウの飼育に関す る研究	0	シンポジウムに関しては、地 震による臨時閉園により、 H28年度は休止、H29年度 からは再開予定。	休止	再開	再開			無	経済観光 局	動植物園	

5. 環境負荷の低減を通じた保全対策の実施

1) 温暖化対策と連携した生物多様性保全対策の推進

事業・取組	細事業	事業・取組の内容(概要)	実施エリア	H28年度の実施状況	H28事業費 (千円)	課題・今後の見通し	今後のスケジュール(予定)					数値目標 (別途あれば)	局	課	備考	
							H28	H29	H30	H31	H32					
地球温暖 化防止推 進事業	低炭素都 市づくり戦 略計画経 費	全市的な温暖化対策を推進 するために、「熊本市低炭 素都市づくり戦略計画推進 協議会」をはじめとした推進 体制を通じて、戦略計画の 進捗管理や情報共有を図っ ている。	熊本市全 域	協議会を開催し、アクション プランの進捗管理や温暖化 対策に関する情報共有、市 民に向けた情報発信の効果 的な方法等について検討予 定(H28年度は、時期・内容 を変更して3月28日に開催 予定)。	412	世界の気候変動状況及び 国や他都市の温暖化対策 の動向を調査するとともに、 引き続き推進体制を通じて 戦略計画の進捗管理や情 報共有を図り、行政はもと より、市民や事業者等の役割 を果たせるよう、全市民一 体となって、温暖化対策の 着実な推進を図っていく(今 年度中に開催するかどうか は、現在検討中である)。	継続	再開					温室効果 ガス削減 目標 短期目標 (2020年 度):2007 年度レ ベルから△ 6.2%	環境局	環境政策 課温暖化 対策室	
街なかの 緑創出所 業	市電緑の じゅうたん 事業	・市電緑のじゅうたん事業 市電軌道敷の緑化を図り、 維持管理を実施。	熊本駅前 ～田崎 橋、水道 町～花畑 町の計 935m	・適正な維持管理の実施 芝刈り(9回)、施肥(2回)、 灌水(16回※駅前前は31回)、 人力除草(4回) ・維持管理経費の縮減のた め、H29年3月、散水軌陸車 (6.5t)を導入	51,157	今後も継続して緑のじゅうた んの適正な維持管理に努め る。 散水軌陸車の導入により委 託料の大幅な縮減が期待で きる。	継続	再開					無	環境局	環境共生 課	「創る」再 掲
街なかの 緑創出所 業	屋上等緑 化経費	・屋上等緑化助成制度 中心市街地の新たな緑の創 出とヒートアイランド現象の 緩和、CO2の吸収を図るた め、屋上、壁面を緑化され る方に対し助成制度を設け ている。	熊本市内 の市街化 区域	屋上緑化に係る助成事業に ついては、9月末まで募集し たが、申請は無かった。	0	屋上緑化の助成事業につい ては、復興期間中の事業休 止へ。	休止	再開					無	環境局	環境共生 課	「創る」再 掲
漱石の森 づくり事業	公共地緑 化経費	・公共地緑化事業 地域の核となる学校・公共 施設の緑化を実施。	熊本市内 小学校	地震により、みどりの月間 植樹の集い期間中の実施 はできなかったが、2月に高 平台小学校、託麻東小学校 において植栽工事を行った (H29年3月末完了予定)。	500	復興期間中については、 H28年度の要望調査をもと に、優先度の高い公共施設 を選定し、植栽工事を実施 していく。規模は縮小。	縮小 実施	実施					無	環境局	環境共生 課	「創る」再 掲
漱石の森 づくり事業	民有地緑 化経費	・漱石の森づくり事業 個人住宅や共同住宅又は、 事業所に樹木、生垣を植栽 を行う民有地の緑化に対し て助成を実施。	熊本市全 域	家庭の森づくり事業(庭のシ ンボルツリー植栽に対する 助成、15件)、緑の町並みづ くり事業(庭の生垣新設等 に対する助成、4件)、事業所 の森づくり事業(事業所敷地 内の緑化等に対する助成、 15件)を実施し、約527㎡の 緑創出に寄与した(H29年1 月末現在)。	4,500	H29年度から助成メニュー の一部見直しを行うが、今 後も災害に強いまちづくり、 地震後のニーズも高まる見 込みのため、事業規模は縮 小せず、継続実施の見込 み。	継続	再開					800㎡ (緑の創出)	環境局	環境共生 課	「創る」再 掲

平成28年度熊本市生物多様性関連事業実施状況(詳細)

事業・取組	細事業	事業・取組の内容(概要)	実施エリア	H28年度の実施状況	H28事業費 (千円)	課題・今後の見通し	今後のスケジュール(予定)					数値目標 (別途あれば)	局	課	備考	
							H28	H29	H30	H31	H32					
漱石の森 づくり事業	民有地緑 化経費	・記念樹配布 結婚、誕生、新築、銀婚と いった人生の節目に記念樹 を配布。	熊本市全 域	結婚(68件)、子の誕生(250 件)、新築(162件)、銀婚式 (27件)に対する記念樹を配 布(H28年11月実績)。 記念樹は、H29年3月にも配 布予定。	1,000	記念樹配布事業について は、今後も継続して行う予 定だが、H29年度は年1回の配 布実施とする。	継続	→					配布数 1,000本	環境局	環境共生 課	「知る」再 掲
漱石の森 づくり事業	緑化啓発 経費	・緑化市民運動 自治会や団体で行う緑化運 動に対し、樹木等の材料を 提供し、地域での緑化に対 する意識の高揚を図る。	熊本市全 域	芳野校区第2町内自治会に 対しソメイヨシノ15本を提 供。今年度は、地震の影響 により申請件数は減少と なった。	1,000	事業は今後も継続。地域の 緑化活動は、景観の向上や 緑の増量だけでなく、まちづ くり・人づくりの素材として期 待している。	継続	→					無	環境局	環境共生 課	「知る」再 掲

2) 河川の水質汚濁防止対策による水環境の保全・化学物質の適正な使用(事業場・生活排水対策、水質調査の継続、下水道への接続、浄化槽の適切な維持管理)

事業・取組	細事業	事業・取組の内容(概要)	実施エリア	H28年度の実施状況	H28事業費 (千円)	課題・今後の見通し	今後のスケジュール(予定)					数値目標 (別途あれば)	局	課	備考	
							H28	H29	H30	H31	H32					
水質保全 対策事業	公共用水 域水質監 視経費	水質汚濁防止法に基づき公 共用水域(河川・海域)の水 質及び底質の調査を実施 し、市域の公共用水域の環 境基準適合状況等を把握す る。	熊本市全 域	環境基準点(8地点)は毎 月、補助点(19地点)は2ヶ 月に1回、水質の調査を実 施。熊本地震によって河川 に濁りがあるものの、それ 以外は例年と同様である。	3,304	今後も継続して調査を実施 するが、近年水質が改善傾 向にあるため、H29年度は 補助点の測定頻度を年6回 から年4回に見直して実施 する予定である。	継続	→					無	環境局	水保全課	「知る」再 掲
水質保全 対策事業	地下水質 監視経費	水質汚濁防止法に基づき、 地下水の水質調査を実施 し、市域の地下水の水質の 状況を把握するとともに、地 下水汚染地域の継続的な 監視を行う。	熊本市全 域	のべ519本の井戸の調査計 画を立て、調査を実施した。 熊本地震の影響等により、 一部調査が出来ない井戸も あったが、水質は概ね例年 通りであった。	2,762	継続して調査を実施し、地 下水の水質の状況を把握し ていく。	継続	→					硝酸性窒 素濃度 10mg/Lを 超過した 井戸の割 合5%以下 (H30)	環境局	水保全課	「知る」再 掲
水質保全 対策事業	化学物質 汚染調査 経費	ダイオキシン類対策特別措 置法に基づき、公共用水 域、地下水及び土壌中のダ イオキシン類の調査を実施 する。また、環境ホルモン調 査を実施する。	熊本市全 域	ダイオキシン類は、河川5地 点、海域2地点、地下水3地 点、土壌5地点において調 査を実施。環境ホルモンは、 2月に実施予定。	2,500	河川、海域、地下水、土壌 いずれも、これまでの調査 で環境基準点を超過したこ とはなく、H29年度は地点数 を減らし、河川2地点、海域1 地点、地下水2地点、土壌2 地点において調査を実施す る予定である。	継続	→					無	環境局	水保全課	「知る」再 掲
水質保全 対策事業	地下水浄 化対策経 費	地下水の汚染が判明した地 区において、水質の監視及 び浄化対策を実施する。	春竹地区	市が管理する地下水浄化装 置の維持管理を行い、地下 水の浄化対策を実施した。	2,300	地下水の環境基準の達成 に至っていないため、継続し て浄化対策を実施していく。	継続	→					無	環境局	水保全課	
水質保全 対策事業	水質汚濁 規制経費	水質汚濁防止法等で排水 基準の適用の適用を受ける 事業場等や有害物質を使用 等する事業場等に対し、 事前に届出をさせ、適正な 管理を実施するよう指導す るとともに、立入りによる排 水検査等により公共用水域 等の水質保全を図る。ま た、油流出等の水質事故や 苦情について、啓発活動に よる未然防止、発生時の緊 急対応を行う。	熊本市全 域	立入りによる排水検査等を行 い、基準等への適合状況 を確認するとともに、適正な 管理について指導を行っ た。また、水質事故や苦情 について、チラシ配布等の 啓発や、発生時の緊急対応 や汚染原因者への指導を行 った。	627	排水基準違反や水質事故 に対して、事前の指導や啓 発活動による未然防止を 図っていく。	継続	→					無	環境局	水保全課	
水質保全 対策事業	硝酸性窒 素削減対 策経費	地下水中の硝酸性窒素削 減を目的とした「第3次熊 本市硝酸性窒素削減計画」に 基づき、施肥対策や家畜排 せつ物対策等の発生源対 策を実施。特に、地下水の 主要な流れに位置する東部 地域における硝酸性窒素の 負荷を削減する目的で、共 同の家畜排せつ物処理施 設の整備を進める。	熊本市全 域	「第3次熊本市硝酸性窒素 削減計画」に基づき、施肥 対策や家畜排せつ物対策 等の発生源対策を推進し た。また、東部地域におけ る家畜排せつ物処理施設 整備については事業実施計 画の策定等を行った。	336,800	「第3次熊本市硝酸性窒素 削減計画」に基づき、更 に対策を推進する。また、 東部地域における家畜排せ つ物処理施設整備につ いてはH29年度より着工し、 H31年度から供用開始予定。	継続	→					無	環境局	水保全課	
水質保全 対策事業	江津湖水 質及び底 質調査経 費(単年)	熊本市民の憩いの場である 江津湖の水辺環境の保全 するため、水質及び底質の 現況調査を実施し、底質が 水質に与える影響を調査す る。		なし	0	なし	予定 なし	→					無	環境局	水保全課	「知る」再 掲
地下水量 保全対策 経費	地下水位 観測経 費	地下水保全のため地下水 位の状況を常に監視すると ともに、収集されたデータは 将来の地下水利用に関する 予測調査を行ううえで解析 等に積極的に利用できるも のである。現在、市内20地 区に観測井戸を設置し、電 話回線を利用したオンライ ンによる監視を行っており、 これらの業務を円滑的に行 うための観測機器の運転及 び点検・補修に関わるもの。	熊本市全 域	観測業務及び保守点検業 務を委託し、年間を通し、維 持管理を行い、地下水位の 観測を行った。ただし、熊 本地震により、20箇所中10箇 所の観測井戸が破損等によ り、一時観測が出来ない状 況であったが、修理を行い、 4ヶ月後には全面復旧した。	5,040	今回の熊本地震により、地 下水位に顕著な変動がみ られたことにより、学識者や研 究者の方がそのデータを利用 し、調査等に役立てても らっている。 ただし、地震変動で地盤高 が変わっており、早急に水 準測量を行う必要がある。 また、S61年からH5年にか けて設置した機器が老朽化 に伴い、不具合や故障を起 こしやすくなっており、早期 の機器更新が必要である。	継続	→					無	環境局	水保全課	「知る」再 掲

平成28年度熊本市生物多様性関連事業実施状況(詳細)

事業・取組	細事業	事業・取組の内容(概要)	実施エリア	H28年度の実施状況	H28事業費 (千円)	課題・今後の見通し	今後のスケジュール(予定)					数値目標 (別途あれば)	局	課	備考	
							H28	H29	H30	H31	H32					
地下水量 保全対策 経費	地下水 採取量調 査経費	熊本県及び熊本市地下水 保全条例に基づく井戸の届 け出が約2,670本存在し、郵 送による調査を行っている。 地下水採取量報告書が提 出されていない井戸につい て報告書の回収と内容に不 備がある報告書の確認約 630本を委託により実施す る。市内の地下水採取に関 する用途とその採取量を全 て把握することで地下水量 の監視を行うもの。	熊本市全 域	年度当初に報告書を発送 し、督促および電話にて再 依頼をしたところ、9割以上 の報告書の提出があり、地 下水採取量の把握に努め た。なお、H28年度より業務 委託費が削減されたため、 職員による電話及び訪問に て報告書の提出を促した。	913	熊本地震の影響により、予 算人員の見直しを図られ、 今後は、業務委託だけでは なく、業務補助の臨時職員 も削減されたことから、事務 作業を直接職員で行わなけ ればならず、報告書の回収 率を下げることなく業務を遂 行する必要がある。	継続	→					無	環境局	水保全課	「知る」再 掲
地下水量 保全対策 経費	ビニール ハウスか ん養対策 経費	ビニールハウスが設置され た畑地では、雨水が地下へ と浸透せず、大半が排水路 を通じて域外へと流出する 雨水を、連棟式ビニールハ ウスの雨どいで集水された 雨水を地下へと浸透させる 雨水浸透施設の設置に対 し、補助金を交付し普及啓 発に努めるもの。	熊本市全 域	H4年度に設けた補助金制 度により、これまでその設置 を推進してきたが、地域の ニーズと合わなくなってきた ことや設置に対して場所の 制限を受けることから、申請 件数も減少し、H27年度にそ の役割を果たしたものと考 え、事業を終了した。	0	廃止	廃止	-	-	-	-	無	環境局	水保全課		
地下水量 保全対策 経費	雨水貯 留施設助 成経費	雨水貯留施設設置に対し助 成することにより、雨水の有 効利用の促進を図る。	熊本市全 域	熊本地震による断水に伴 い、補助申請件数が大幅に 増加し、予算上限額に達し たため、年度途中で受付を 終了した。(補助件数 不要 浄化槽転用:2件、雨水タン ク設置:56件)	2,000	H28年度の状況や東日本大 震災発生後の申請件数の 伸びを考慮し、補助率を設 置費用の1/2)に見直す。	継続	→					無	環境局	水保全課	
地下水量 保全対策 経費	節水対 策経費	市民協働で節水施策を実施 し、節水型社会形成を計画 的に進めるため、節水市民 運動を展開する。また、将 来を担う子どもたちに水の 学習を通じ、節水意識を定 着させ、永続的な節水行動 を喚起する。	熊本市全 域	熊本地震の発生により、夏 季の節水重点期間オープ ニングパレード等、啓発イベ ントの一部を縮小し実施した。	7,600	熊本地震での断水の経験も 糧とし、H30年度目標であ る、一人一日あたりの生活 用の水使用量218リットルの 達成に向けて、さらなる節水 を呼びかけていく。	継続	→					無	環境局	水保全課	

平成28年度熊本市生物多様性関連事業実施状況(詳細)

基本戦略4 創る 生物の生息・生育地(拠点)の創出、生態系ネットワークの向上

I 個別の事業ごとの実施状況

1. 生きものの生息・生育地となる緑地の創出

1) 生物多様性の保全に資する緑化の推進(緑化助成制度における生きものの生息・生育環境創出の視点を組み込む検討等)

事業・取組	細事業	事業・取組の内容(概要)	実施エリア	H28年度の実施状況	H28事業費 (千円)	課題・今後の見通し	今後のスケジュール(予定)					数値目標 (別途あれば)	局	課	備考		
							H28	H29	H30	H31	H32						
街なかの緑創出事業	市電線のじゅうたん事業	・市電線のじゅうたん事業 市電軌道敷の緑化を図り、維持管理を実施。	熊本駅前～田崎橋、水道町～花畑町の計935m	・適正な維持管理の実施 芝刈り(9回)、施肥(2回)、 灌水(16回※駅前は31回)、 人力除草(4回) ・維持管理経費の縮減のため、H29年3月、散水軌陸車(6.5t)を導入	51,157	今後も継続して緑のじゅうたんの適正な維持管理に努める。 散水軌陸車の導入により委託料の大幅な縮減が期待できる。	継続	→					無	環境局	環境共生課	「守る」再掲	
街なかの緑創出事業	屋上等緑化経費	・屋上等緑化助成制度 中心市街地の新たな緑の創出とヒートアイランド現象の緩和、CO2の吸収を図るため、屋上、壁面を緑化される方に対し助成制度を設けている。	熊本市内の市街化区域	屋上緑化に係る助成事業については、9月末まで募集したが、申請は無かった。	0	屋上緑化の助成事業については、復興期間中の事業休止へ。	休止	→					再開	無	環境局	環境共生課	「守る」再掲
漱石の森づくり事業	公共地緑化経費	・公共地緑化事業 地域の核となる学校・公共施設の緑化を実施。	熊本市内小学校	地震により、みどりの月間植樹の集い期間中の実施はできなかったが、2月に高平小学校、託麻東小学校において植栽工事を行った(H29年3月末完了予定)。	500	復興期間中については、H28年度の要望調査をもとに、優先度の高い公共施設を選定し、植栽工事を実施していく。規模は縮小。	縮小実施	→					実施	無	環境局	環境共生課	「守る」再掲
漱石の森づくり事業	民有地緑化経費	・漱石の森づくり事業 個人住宅や共同住宅又は、事業所に樹木、生垣を植栽を行う民有地の緑化に対して助成を実施。	熊本市全域	家庭の森づくり事業(庭のシンボルツリー植栽に対する助成、15件)、緑の町並みづくり事業(庭の生垣新設等に対する助成、4件)、事業所の森づくり事業(事業所敷地内の緑化等に対する助成、15件)を実施し、約527㎡の緑創出に寄与した(H29年1月末現在)。	4,500	H29年度から助成メニューの一部見直しを行うが、今後も災害に強いまちづくり、地震後のニーズも高まる見込みのため、事業規模は縮小せず、継続実施の見込み。	継続	→					800㎡ (緑の創出)	環境局	環境共生課	「守る」再掲	
漱石の森づくり事業	民有地緑化経費	・記念樹配布 結婚、誕生、新築、銀婚といった人生の節目に記念樹を配布。	熊本市全域	結婚(68件)、子の誕生(250件)、新築(162件)、銀婚式(27件)に対する記念樹を配布(H28年11月実績)。記念樹は、H29年3月にも配布予定。	1,000	記念樹配布事業については、今後も継続して行う予定だが、H29年度は年1回の配布実施とする。	継続	→					配布数 1,000本	環境局	環境共生課	「守る」再掲	
漱石の森づくり事業	緑化啓発経費	・緑化市民運動 自治会や団体で行う緑化運動に対し、樹木等の材料を提供し、地域での緑化に対する意識の高揚を図る。	熊本市全域	芳野校区第2町内自治会に対しソメイヨシノ15本を提供。今年度は、地震の影響により申請件数は減少となった。	1,000	事業は今後も継続。地域の緑化活動は、景観の向上や緑の増量だけでなく、まちづくり・人づくりの素材として期待している。	継続	→					無	環境局	環境共生課	「守る」再掲	

2) 熊本市らしい緑のあり方や、効果的な緑の創出とネットワークの形成の検討(「森の都」の実現に向けた中心部のコアとなる緑地の創出・拡大の検討等)

事業・取組	細事業	事業・取組の内容(概要)	実施エリア	H28年度の実施状況	H28事業費 (千円)	課題・今後の見通し	今後のスケジュール(予定)					数値目標 (別途あれば)	局	課	備考		
							H28	H29	H30	H31	H32						
※検討中		「森の都」の実現に向けた中心部のコアとなる緑地の創出・拡大の検討等	熊本市全域	未だ検討中。地震の影響により進捗が遅れている。	0	取組は必要だが、優先順位を付け進めていく。	-	検討	→					無	環境局	環境共生課ほか	

2. 生物多様性に配慮した整備の推進

1) 生物多様性に配慮した整備・管理手法の検討(緑化手法ガイドライン等の検討等)

事業・取組	細事業	事業・取組の内容(概要)	実施エリア	H28年度の実施状況	H28事業費 (千円)	課題・今後の見通し	今後のスケジュール(予定)					数値目標 (別途あれば)	局	課	備考		
							H28	H29	H30	H31	H32						
※検討中		緑化手法等を含めた緑の整備・管理手法の検討	熊本市全域	未だ検討中。地震の影響により進捗が遅れている。	0	取組は必要だが、優先順位を付け進めていく。	-	検討	→					無	環境局	環境共生課	

2) 生物多様性に配慮した整備や再整備、管理の推進(多自然川づくりの推進、生物の生息・生育地を保全する農地・用水路の管理、公園などの整備等)

事業・取組	細事業	事業・取組の内容(概要)	実施エリア	H28年度の実施状況	H28事業費 (千円)	課題・今後の見通し	今後のスケジュール(予定)					数値目標 (別途あれば)	局	課	備考	
							H28	H29	H30	H31	H32					
環境に配慮した河川整備の推進	広域河川整備経費	一級河川健軍川、藻器堀川、鶯川の改修にあたり、多自然川づくりを実施している。	藻器堀川(八反田3丁目付近) 鶯川(東野2丁目付近)	藻器堀川・鶯川において河川環境に配慮した河川改修を実施した。	127,970	事業計画に基づき、河川環境に配慮した河川改修を実施する。	継続	→					無	都市建設局	東部土木センター 河川公園整備課	
環境に配慮した河川整備の推進	広域河川改修経費	二級河川麴川の改修にあたり、多自然川づくりを実施している。	麴川河川区域(西区島崎2丁目～島崎5丁目地先)	河川改修事業においては、市域全体の浸水状況や河川の整備状況を勘案し優先順位を付け実施している。このなかで、H28年度の麴川改修工事を休止し、翌年度以降の実施とした。	0	事業計画に基づき、河川環境に配慮した河川改修を実施する。	休止	再開	→				無	都市建設局	西部土木センター 河川公園整備課	
環境に配慮した河川整備の推進	準用河川改修事業(補助)	準用河川旧天明新川の改修にあたり、多自然川づくりを実施している。	旧天明新川河川区域(南区御幸木部1丁目地先～良町4丁目地内)	準用河川旧天明新川において、河川環境に配慮した河川改修を実施した。	238,707	事業計画に基づき、河川環境に配慮した河川改修を実施する。	継続	→					無	都市建設局	西部土木センター 河川公園整備課	

平成28年度熊本市生物多様性関連事業実施状況(詳細)

事業・取組	細事業	事業・取組の内容(概要)	実施エリア	H28年度の実施状況	H28事業費 (千円)	課題・今後の見通し	今後のスケジュール(予定)					数値目標 (別途あれば)	局	課	備考
							H28	H29	H30	H31	H32				
災害復旧	公園災害復旧経費	H28年4月に熊本地震で被災した水前寺江津湖公園(上江津地区)において復旧工事を行うもの。	江津湖(上江津地区)	当課が行う工事は、基本原型復旧となるが、江津湖は、希少な生物が生息していることから、水生物の生息・生育環境の創出を目的とし、工事設計においては杭柵工を部分的に使うなどの配慮を行った。	国費	自然等に配慮した工法等の検討も行いたい、基本は原型復旧となる。 H29年7月中旬に復旧工事を完了予定。	工事着工	工事完了	-	-	-	無	都市建設局	震災土木施設対策課	
災害復旧	(震災)公設運動施設災害復旧経費	H28年4月に熊本地震で被災したサイクリングロードにおいて復旧工事を行うもの。	江津湖(サイクリングロード)	当課が行う工事は、基本原型復旧となるが、江津湖は、希少な生物が生息していることから、水生物の生息・生育環境の創出を目的とし、護岸(ブロック積)の復旧においては、環境保全型ブロックによる復旧及び一部魚巢ブロックの設置を行うなどの配慮を行った。	国費	H29年6月末に護岸工事を完了予定。	工事着工	工事完了	-	-	-	無	都市建設局	震災土木施設対策課	
環境に配慮した水路整備の推進	一般土地改良経費(政策)	水路改良工事において、柵渠や魚巢ブロック等による生態系に配慮した製品の使用を推進している。	熊本市全域	実施なし	0	必要に応じて検討	実施なし	必要に応じて実施	→			無	農水局	農業支援課	

平成28年度熊本市生物多様性関連事業実施状況(詳細)

基本戦略5 活かす めぐみの持続可能な利用

I 個別の事業ごとの実施状況

1. 生物多様性と地下水、歴史・文化を活かした魅力の発信

1) 生物多様性の魅力を市内外に発信(地下水や歴史・文化とともに生物多様性を熊本市の魅力と位置づけ、観光等で内外に発信するなど)

事業・取組	細事業	事業・取組の内容(概要)	実施エリア	H28年度の実施状況	H28事業費 (千円)	課題・今後の見通し	今後のスケジュール(予定)					数値目標 (別途あれば)	局	課	備考	
							H28	H29	H30	H31	H32					
くまもと水ブランド事業	くまもと水ブランド情報発信経費	本市の財産である水を活かした都市ブランドを形成するため、総合的な情報発信や、水遺産制度の推進を図り、地下水都市・熊本をPRする。	熊本市全域(一部県外)	くまもとの水バスツアーを3回実施したほか、ホームページ「くまもとウォーターライフ」による情報発信や、オフィシャルウォーター「熊本水物語」の配布。また、水資源保全全国自治体連絡会との共催による全国規模のシンポジウムを開催した。	1,900	引き続き、ホームページや各種イベント等での情報発信を行うほか、本市来訪者に対しオフィシャルウォーターを配布し、地下水都市・熊本の認知度向上を図る。	継続	→					無	環境局	水保全課	
くまもと水ブランド事業	くまもと水ブランド担い手育成推進経費	くまもと「水」検定やくまもと水守制度の推進により、水保全活動に取り組む人材を育成し、水を活かした都市ブランドの形成を図る。	熊本市中心(検定・水守は対象エリア限定無し、フォーラムは県内高校生)	H28年度は、くまもと「水」検定には3,578人が受験。水守に対しても適宜、水保全に関する情報提供等を実施。また、水の国高校生フォーラムを県・市・くまもと地下水財団・TKUからなる実行委員会で開催。	5,400	水保全活動に取り組む人材を育成するため、きっかけとなる検定事業について、受験をPRしていくことが課題。	継続	→					無	環境局	水保全課	
くまもと水ブランド事業	地下水都市熊本空間創出経費	街なか親水空間、名水百選等の水資源の活用整備を図り、水を活かした都市ブランドを形成する。	熊本市全域	熊本市設置の親水施設(5ヶ所)の維持管理を実施。既存水資源整備補助については、1件に対し補助金を交付した。	5,800	引き続き親水施設の維持管理にあたり、既存水資源整備についても、景観等の周辺環境整備に対し補助を行っていく。	継続	→					無	環境局	水保全課	
熊本ブランド推進事業	熊本シティブランド戦略推進経費	本市の魅力をシティブランド戦略として、国内外に広く、かつ効果的に発信していく。	市内全域	ホームページにて、熊本の地下水や「ひご野菜」等についてのPRを実施した。	19,987	今後も観光WEBサイト等で、「地下水」や「自然」についても熊本の魅力のひとつとして情報発信していく。	継続	→					無	経済観光局	観光政策課	

2. 生物多様性と地下水、歴史・文化を活かした地域づくりの推進

1) 生物多様性とかがわかる湧水、地形、歴史・文化など地域の魅力の発掘とこれらを活かした地域づくりの推進

(地域の魅力発掘ワークショップ等、竹林対策と資源の有効活用の検討、フットパス等の資源を活かした地域づくり・観光(エコツーリズム)等)

事業・取組	細事業	事業・取組の内容(概要)	実施エリア	H28年度の実施状況	H28事業費 (千円)	課題・今後の見通し	今後のスケジュール(予定)					数値目標 (別途あれば)	局	課	備考	
							H28	H29	H30	H31	H32					
観光客受入対策事業	九州自然歩道利用拠点施設管理経費	金峰山の駅みちくさ館を核に周辺の観光資源を活用し金峰山一帯の観光レクリエーション及び地域の振興を図る中で、景観・環境づくりを行っている。	河内地区	金峰山の駅みちくさ館は、指定管理施設として運営。H28年度は、7月20日に自主事業として、ホテル幼虫の放流、水生生物調査及びEMだんごの投入などを実施した。	6,349	H28年度は、熊本地震の影響により「ホテルまつり」が実施できなかったが、来年度以降も「ホテルまつり」も含め、事業を実施していく予定。	継続	→					無	経済観光局	観光政策課	
井手の魅力再発見事業	まちづくり推進経費	大井手をテーマとした学習会やまちづくりウォーク、シンポジウムなどを開催。マップなどを作成予定	白川から大井手	H27年度から熊本大学とともに地域の環境活動団体、自治会、小学校とワークショップ、里川歩きを実施。H28年度は熊本地震の影響で事業縮小。ワークショップ等を開催。	500	事業への参加者不足。周知の徹底。H29年度を事業最終年度とし、大井手の認知度が上げられるような事業を開催。また、地域で、長期的な環境活動が行われるよう協議会設置を目指す。	継続	→					無	中央区	総務企画課	
まちづくり推進事業	まちづくり推進経費	歴史ある託麻三山の魅力を発信することを目的とし、地域の団体と協働で散策マップを作成した。(地元で史跡めぐりを行っている)	託麻エリア	熊本地震で史跡及び山中コースが被災したため予定していた託麻三山ウォーキングは事業中止	0	H28年度の託麻三山ウォーキングは、場所をたまたま託麻三山に選択していただけであり、必ず託麻三山でウォーキング大会を開催することにはなっていない。作成していたマップを利用してもらうよう周知啓発を行っていく。	終了	-	-	-	-		無	東区役所	まちづくり推進課	
まちづくり推進活性化事業	まちづくり推進経費	・お宝マップ作成経費 金峰山系エリアのマップを作成 自然を含めた魅力をマップに掲載	熊本駅周辺	地域住民と連携して熊本駅周辺のエリアマップを作成 ※年度末完成予定	1,865	H29年度は西部地区のエリアマップを作成予定	継続	→					無	西区役所	まちづくり推進課	
まちづくり推進活性化事業	まちづくり推進経費	・伝承文化保存継承事業 存続の危機にある無形文化財(神楽)の保存継承のため記録映像を作成。	河内(芳野)	H28年度に大多尾地区の神楽を記録・保存の予定であったが、熊本地震の影響により事業中止。	0	過疎化・少子化により若い年代の継承者が揃わないため、存続が危ぶまれる。西区内には4つの神楽があり、H26年度から取り組んでおり、既に2地域で神楽の記録・保存を終了しており、30年度にはすべて完了予定である。	休止	再開	終了	-	-		無	西区役所	まちづくり推進課	
まちづくり推進活性化事業	まちづくり推進経費	・漱石記念事業 夏目漱石記念年に併せて、小説「草枕」の道歩く事業を実施。往時を偲んで歴史文化に触れ、自然の風景を楽しみながら西区の魅力発信に繋げる。	金峰山エリア	ハイキングルート沿線の城西及び芳野両校区住民で組織された実行委員会(事務局:西区まちづくり推進課)による主催にてH28年12月3日付け開催。参加者人数:83名	500	夏目漱石記念年がH28年度で終了するのに伴い、本事業もH28年度にて終了予定	終了	-	-	-	-		無	西区役所	まちづくり推進課	

平成28年度熊本市生物多様性関連事業実施状況(詳細)

事業・取組	細事業	事業・取組の内容(概要)	実施エリア	H28年度の実施状況	H28事業費 (千円)	課題・今後の見通し	今後のスケジュール(予定)					数値目標 (別途あれば)	局	課	備考
							H28	H29	H30	H31	H32				
校区の恵まれた自然や豊かな農産物、歴史、文化を活かし、交流人口の増加、農業振興	まちづくり推進経費	・西区探訪ウォーキング開催経費 地域の魅力を再発見するとともに健康増進を目的に開催。地元食材を使った料理や地域特産の農水産物も提供。		H26年度で終了			終了	-	-	-	-	無	西区役所	まちづくり推進課	
西区金峰山系エリアまちづくり事業	まちづくり推進経費	・金峰山系エリア魅力発信事業 金峰山系エリアの魅力を発信する事業を行政と地域が協働で発信。年2回イベントを実施。	金峰山エリア	河内・芳野校区自治協議会を中心に組織された実行委員会(事務局:河内まちづくり交流室)主催で、H28年11月20日に「オレンジウォークin河内2016」を開催。参加者567名(スタッフ含む)。H28年5月に予定していたイベントは、地震により中止。	市負担金500 参加費314 協賛金170 その他45 合計1,029	今後も金峰山エリアの魅力を発信する事業を継続予定。	継続	→			無	西区役所	河内まちづくり交流室		
西区金峰山系河川流域まちづくり事業	なし	・ほたる連携会議の開催(予算なし) ほたるが生息している校区を対象に、ほたるが生息する環境の保全等の情報交換の場を設定し、環境保全に努める。		H27年度で終了	0		終了	-	-	-	-	無	西区役所	西部まちづくり交流室	
まちづくり推進事業	まちづくり推進経費	・フットパスによるまちづくり支援事業 H27年度に旧城南町及び川尻地域において、里山や田園地帯、古い町並みなど、その地域のありのままの風景を楽しみ、寄り道・道草しながらゆっくり歩くフットパスコースを作製。 地域が運営主体となるフットパスによるまちづくりを支援する。	城南町地域及び川尻地域	熊本地震のため事業中止。ただし、地域の運営主体による活動は一部継続。	0	H29年度は、案内板等の作製、南区フットパスの広報PR、フットパスを運営する地域住民によるネットワークづくり座談会の開催を予定。地域が主体となった、フットパスを活用したまちづくりを支援していく。	休止	再開	継続	→		無	南区役所	まちづくり推進課	
まちづくり推進事業	南区まちづくり推進経費	・南区自然を活かした地域連携事業 南区の豊かな自然を次世代に継承することを目的として、区民が自然と親しむイベントを開催する「南区を自然でつなぐ実行委員会」に対して支援(負担金)を実施	南区	H29年3月12日(日)に加勢川河川敷で「穴掘り大会」実施予定	700	H29年度も「南区を自然でつなぐ実行委員会」が主催する南区の豊かな自然を活かしたイベントを支援する。	継続	→			無	南区役所	総務企画課		
まちづくり推進事業	まちづくり推進経費	・北区幸せ絵巻作成 北区の自然・風景、食、歴史・文化などを掲載した、まち歩きマップを作成。地域の隠れた資源や魅力を再発見する。	北区全域	まち歩きマップ第3弾を作成する予定であったが、震災の影響による、事務事業効率化のため、作成を中止。既存マップ(2巻)について、安全確認のための危険箇所チェックを実施。	1,674	既存マップを活用していく方針にシフトする。まち歩き楽しみ方の講習や、各モデルコースを利用したまち歩きイベントを実施、コース風景等の写真コンテストなどの事業を展開していく。	中止	活用	→		無	北区役所	まちづくり推進課		

2) 生物多様性と地下水、歴史・文化を活かした水前寺江津湖公園の利活用のあり方の検討・推進

事業・取組	細事業	事業・取組の内容(概要)	実施エリア	H28年度の実施状況	H28事業費 (千円)	課題・今後の見通し	今後のスケジュール(予定)					数値目標 (別途あれば)	局	課	備考
							H28	H29	H30	H31	H32				
水前寺江津湖公園利活用・保全基本計画の策定	水前寺江津湖公園利活用・保全基本計画策定経費	水前寺江津湖公園について、利活用と併せて保全の方針についてまとめた基本計画を策定する。	水前寺江津湖公園一帯	基本計画(たたき台)の作成	0	関係課との調整、市民全体のコンセンサス形成	素案作成	計画策定	事業実施	→		無	都市建設局	公園課	

3. 生物多様性と地下水を活かした農林水産業の推進

1) 生物多様性や地下水に配慮した農水産業の推進(グリーン農業の推進、漁場環境の保全と資源管理等)

事業・取組	細事業	事業・取組の内容(概要)	実施エリア	H28年度の実施状況	H28事業費 (千円)	課題・今後の見通し	今後のスケジュール(予定)					数値目標 (別途あれば)	局	課	備考
							H28	H29	H30	H31	H32				
環境に配慮した農業及び安全・安心な農産物づくりの推進	環境保全型農業総合支援対策経費(環境保全型農業直接支払事業)	化学肥料や化学農薬を5割以上低減する取り組み等に対する支援	市内全域	地球温暖化防止等に効果の高い環境保全型農業に取り組む農業者に対して支援を行った。	7,117	継続した支援を行うことで、農業が有する環境保全機能を一層発揮させる。	継続	→			無	農水局	農業支援課 各農業振興課		
環境に配慮した農業及び安全・安心な農産物づくりの推進	熊本市夢と活力ある農業推進事業(安全安心・環境対策推進事業)	化学肥料や化学農薬低減技術への取り組みに対する補助	市内全域	天敵等の生物農薬導入に係る経費を支援することで、化学農薬使用量の低減を推進した。	30,000の内数	今後も化学肥料や化学農薬低減技術への取り組みに対して支援することで、引き続き安全・安心な農産物づくりを推進する。	継続	→			無	農水局	農業支援課 各農業振興課		
環境に配慮した農業及び安全・安心な農産物づくりの推進	熊本市夢と活力ある農業推進事業(環境対策整備事業)	土づくりや堆きゅう肥の製造・利用拡大等を目的とした施設機械導入に対する補助	市内全域	堆肥処理施設整備に係る経費を支援することで、家畜排せつ物の適正処理・利用促進を図った。	30,000の内数(再掲)	今後も土づくりや堆きゅう肥の製造・利用拡大等を目的とした施設機械導入に対して支援する。	継続	→			無	農水局	農業支援課 各農業振興課		

平成28年度熊本市生物多様性関連事業実施状況(詳細)

事業・取組	細事業	事業・取組の内容(概要)	実施エリア	H28年度の実施状況	H28事業費 (千円)	課題・今後の見通し	今後のスケジュール(予定)					数値目標 (別途あれば)	局	課	備考	
							H28	H29	H30	H31	H32					
漁業生産 振興事業	漁場環境 保全対策 推進経費	漁協が行う水域環境・漁場 環境保全に関する取組みを 支援することで、ノリ、アサリ、 ハマグリなどの主要水産物 の安定的な生産を図ると ともに、魚類・甲殻類の幼稚 仔の生息しやすい環境を維 持する。	有明海 (市管内 地先漁場)	管内3漁協により漁場に堆 積した浮泥等を除去するた めの耕うん作業が行われ た。	330	事業内容が重複するため、 水産多面的機能発揮対策 事業へ統合	実施	廃止	-	-	-	無	農水局	水産振興 センター	「守る」再 掲	
漁業生産 振興事業	水産多面的 機能発揮 対策事業	活動組織(漁業者等)が行う 耕うん、保護区設定、生物 除去等の水域環境・漁場環 境保全に関する取組みを支 援することで、ノリ、アサリ、 ハマグリなどの主要水産物 の安定的な生産を図ると ともに、魚類・甲殻類の幼稚 仔の生息しやすい環境を維 持する。	有明海 (管内地 先漁場) 等	8活動組織により漁場の耕う ん、保護区設定、害敵生物 除去等の事業が実施され た。	8,479	当該事業は国の補助事業 であり、事業期間がH32年 度までとなっていること。 (H32年度以降の事業継続 が不透明)	実施	→					無	農水局	水産振興 センター	「守る」再 掲

2) 生物多様性や地下水とのつながりをアピールした地元農水産物のブランド化及び地産地消・消費拡大の推進(グリーンツーリズム、6次産業化による消費拡大の推進等)

事業・取組	細事業	事業・取組の内容(概要)	実施エリア	H28年度の実施状況	H28事業費 (千円)	課題・今後の見通し	今後のスケジュール(予定)					数値目標 (別途あれば)	局	課	備考	
							H28	H29	H30	H31	H32					
政令指定 都市推進 事業	まちづくり 推進経費	・西部エリア魅力発信事業 安全安心で美味しい西区の 農産物の生産状況の視察 などを行うことで、西区農産 物の魅力の情報発信につな げる。	西区	西区まちづくり事業としての 西部エリア魅力発信事業は 未実施。まちづくり推進事業 として西区フェスタを実施す る中で、地元農産物の消費拡 大、情報発信のために農産 物等を販売する。 当該事業の枠組みではない が、子どもたちに地元農水 産物の理解を深めてもらう ためみかん収穫体験、JA選 果場の受け入れやみかんな どの直売をJAと連携して実 施している。	0	西区フェスタでの農産物等 の販売は継続していく。 当該事業の枠組みではない が、JAと連携したみかん等 の直販及び子どもたちにみ かんの学習をしてもらうた めに県・JAと連携した選果場 の受け入れを継続していく。	実施	→					無	農水局	西農業振 興課	
まちづくり	まちづくり 推進経費	・北区農産物の朝市 北区の豊富な農産物を知 って頂くため、地域の新鮮野 菜や果物、特産品等を朝市 で販売。生産者と消費者の 交流及び地産地消の促進を 図る。	北区管内	北部地域(北部体育館)10 月30日 ※ふれあいフェスタinほく ぶ併催 清水地域(清水総合出張 所)11月6日 ※清水地域市民のつどい 併催 北区こどもまつり 11月12日 に出店	600	北区の農産物のPRのほ か、生産者と消費者の交 流、地産地消の促進のため に始めたこの事業もH28年 度で一応の区切り。 H29年度以降は、事業廃止 の方向。	実施	廃止	-	-	-	無	北区役所 (農水局)	総務企画 課 (北農業 振興課)		
水産業地 域交流促 進事業	市民と水 産業の交 流促進事 業	・水産物フェアの開催 本市の水産物(ノリ・アサ リ・ハマグリ等)の認知度向 上と消費拡大を図る。	びぶれす 広場	H29年3月21日、22日の2日 間、びぶれす広場において 以下の内容を開催予定。 ①ノリ・アサリ・ハマグリ等 の水産物及び水産加工品の 販売 ②ノリの美味しさのPR ③本市水産業の紹介(観賞 魚養殖含む)	477	今後、出展団体の増加も予 想されることから、開催場所 の検討及び予算措置等の 課題が考えられる。また、内 容の充実を図るためには関 係団体との連携を強化する 必要がある。	継続	→					無	農水局	水産振興 センター	